2027年３月期　第２四半期（中間期）決算短信〔ＩＦＲＳ〕（連結）

2026年11月２日

上 場 会 社 名	日鉄ソリューションズ株式会社	上場取引所	東・名・福
コ ー ド 番 号	2327	URL	https://www.nssol.nipponsteel.com
代　　表　　者	（役職名） 代表取締役社長	（氏名）	玉置 和彦
問合せ先責任者	（役職名） 財務部長	（氏名）	三宅 秀樹　（TEL）03-6899-6000
半期報告書提出予定日	2026年11月10日	配当支払開始予定日	2026年12月１日

決算補足説明資料作成の有無　　：有
決算説明会開催の有無　　：有　（アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

１．2027年３月期第２四半期（中間期）の連結業績（2026年４月１日～2026年９月30日）

（１）連結経営成績(累計)

（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上収益		営業利益		税引前中間利益		親会社の所有者に帰属する中間利益		中間包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年３月期中間期	198,978	11.6	23,209	27.0	23,728	25.9	14,857	23.7	15,790	28.3
2026年３月期中間期	178,375	13.9	18,272	0.8	18,848	3.8	12,007	△1.5	12,309	△54.2

	基本的１株当たり中間利益	希薄化後１株当たり中間利益
	円 銭	円 銭
2027年３月期中間期	81.19	―
2026年３月期中間期	65.62	―

（２）連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に帰属する持分	親会社所有者帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2027年３月期中間期	433,850	295,659	285,988	65.9
2026年３月期	417,584	288,808	279,203	66.9

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年３月期	―	40.00	―	45.00	85.00
2027年３月期	―	44.50			
2027年３月期(予想)			―	44.50	89.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：有

３．2027年３月期の連結業績予想（2026年４月１日～2027年３月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上収益		営業利益		税引前利益		親会社の所有者に帰属する当期利益		基本的１株当たり当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	419,000	9.9	49,000	10.8	49,800	10.0	32,400	5.1	177.06

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無　　：有

※　注記事項

（１）当中間期における連結範囲の重要な変更　　：　無

新規　−社（社名）−　、除外　−社（社名）−

（２）会計方針の変更・会計上の見積りの変更

①　ＩＦＲＳにより要求される会計方針の変更　　：　無

②　①以外の会計方針の変更　　：　無

③　会計上の見積りの変更　　：　無

（３）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数(自己株式を含む)	2027年３月期中間期	183,002,000株	2026年３月期	183,002,000株
②　期末自己株式数	2027年３月期中間期	8,786株	2026年３月期	20,595株
③　期中平均株式数(中間期)	2027年３月期中間期	182,986,311株	2026年３月期中間期	182,977,157株

※　第２四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・上記に記載した予想数値は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づくものであります。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

○添付資料の目次

１．当中間決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 3
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 4
２．要約中間連結財務諸表及び主な注記 …… 5
（１）要約中間連結財政状態計算書 …… 5
（２）要約中間連結損益計算書及び要約中間連結包括利益計算書 …… 7
要約中間連結損益計算書 …… 7
要約中間連結包括利益計算書 …… 8
（３）要約中間連結持分変動計算書 …… 9
（４）要約中間連結キャッシュ・フロー計算書 …… 11
（５）要約中間連結財務諸表に関する注記事項 …… 12
（継続企業の前提に関する注記） …… 12
（セグメント情報等の注記） …… 12

１．当中間決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

経営成績の分析

当中間連結会計期間のわが国経済は緩やかな回復基調が継続しており、企業収益も総じて堅調に推移いたしました。一方で、中東情勢を中心とする世界情勢の不安定化や、自然災害、物価上昇の影響等も見込まれ、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社グループを取り巻く事業環境においては、生成AIをはじめとするAI活用による業務変革や生産性向上、新たな事業価値創出に向けたニーズは高い水準で推移しており、顧客企業におけるシステム投資も総じて底堅く推移しております。一方で、一部企業においては先行き不透明感等を背景に投資を厳選する傾向も見られております。

当社グループは、「NSSOL 2030ビジョン」（2024年４月公表）実現に向けた「2025-2027中期経営計画」（2025年２月公表）に基づき、「事業収益モデルの変革」「顧客アプローチの変革」「技術獲得・適用プロセスの変革」「社内業務・マネジメントの変革」の４つの抜本的変革を軸として、各種施策を推進しております。

これらの変革にあたっては、AI活用をより一層強化しており、本年９月にはAnthropic, PBCとの間で戦略的パートナーシップ契約を締結いたしました。同社の先進的なAI技術と当社の業務知見・システム構築力を融合することで、顧客企業の業務変革や競争力強化に資する新たな価値創出を進めるとともに、当社グループ内でも同社のAI技術を実践的に活用し、開発プロセスの高度化をはじめとする業務の生産性向上に取り組んでおります。

また、当社の有する知見・ノウハウのアセット化やAIを組み込んだ新たなソリューション・サービスの開発・市場投入も進め、顧客接点の高度化と業務生産性の向上を実現するCX（Customer Experience）・コンタクトセンター支援サービス「NSRelato」や、自然言語による指示で業務アプリケーションやAIエージェントを迅速に構築できるバイブコーディングプラットフォーム「Alli Coworker」の提供を開始いたしました。

さらに、本年４月に立ち上げた企業変革支援ブランド「Corepeak」を通じて、変革シナリオに基づく提案活動や業界特化型オファリングの拡充、AI Ready等の注力メニューの展開を進めるとともに、企業変革の構想策定から実装・定着までを一貫して支援し、顧客企業における変革実現に向けた取り組みを推進しております。

これらに加えて、M&A等による外部成長戦略を推進しており、本年５月には、損害保険会社向け基幹システム関連事業を主力事業とする㈱B-Prostをグループ会社化し、当社グループの一員として一体となった事業展開を進めております。また、７月には、SDV（Software Defined Vehicle）／AIDV（AI Defined Vehicle）領域における新たな価値創出を目的として、自動車向けインテリジェントシステム開発を手掛けるiAuto Co., Ltd.と資本業務提携契約を締結いたしました。

当中間連結会計期間の売上収益は、ビジネスソリューション分野及びコンサルティング＆デジタルサービス分野がともに堅調に推移したことに加え、昨年７月にインフォコム㈱を連結した影響もあり、198,978百万円と前年同期（178,375百万円）と比べ20,603百万円の増収となりました。営業利益は、中期経営計画の諸施策の実行等に伴い販売費及び一般管理費が増加したものの、増収に加え、売上総利益率の改善による売上総利益の増があったことから、23,209百万円と前年同期（18,272百万円）と比べ4,937百万円の増益となりました。

当中間連結会計期間をサービス分野別（ビジネスソリューション、コンサルティング＆デジタルサービス）に概観しますと、以下のとおりであります。

（ビジネスソリューション）

ビジネスソリューションにつきましては、産業分野及び金融分野が堅調に推移したことに加え、昨年７月にインフォコム㈱を連結した影響もあり、当中間連結会計期間の売上収益は、143,404百万円と前年同期（135,072百万円）と比べ8,332百万円の増収となりました。

産業・鉄鋼

産業・鉄鋼分野向けにつきましては、鉄鋼分野向けで減収となったものの、昨年７月に連結したインフォコム㈱の影響に加え、自動車・化学素材・食品・鉄道などの産業分野向けの売上が増加したことから、売上収益は前年同期と比べ増収となりました。

流通・プラットフォーマー

流通・プラットフォーマー分野向けにつきましては、小売や情報サービス分野等で売上が減少したことから、売上収益は前年同期と比べ減収となりました。

金融

金融分野向けにつきましては、グループ会社主体の増収（新規連結含む）により、売上収益は前年同期と比べ増収となりました。

（コンサルティング＆デジタルサービス）

コンサルティング＆デジタルサービスにつきましては、防衛分野の大型案件が大きく寄与したことから、当中間連結会計期間の売上収益は55,574百万円と前年同期（43,302百万円）と比べ12,271百万円の増収となりました。

（２）財政状態に関する説明

① 財政状態の分析

当中間連結会計期間末の資産は、前連結会計年度末417,584百万円から16,265百万円増加し、433,850百万円となりました。主な内訳は、現金及び現金同等物の増加18,569百万円、契約資産の増加9,027百万円、その他の流動資産の減少△12,552百万円等であります。

当中間連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末128,775百万円から9,415百万円増加し、138,190百万円となりました。主な内訳は、未払法人所得税等の増加5,772百万円、リース負債の増加5,007百万円、その他の流動負債の減少△2,621百万円等であります。

当中間連結会計期間末の資本は、前連結会計年度末288,808百万円から6,850百万円増加し、295,659百万円となりました。主な内訳は、中間利益15,589百万円、配当金の支払△8,234百万円等であります。その結果、親会社所有者帰属持分比率は65.9%となりました。

②キャッシュ・フロー

（キャッシュ・フロー計算書）

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末と比較して18,569百万円増加し、127,368百万円となりました。各活動区分別には以下のとおりであります。

１）営業活動によるキャッシュ・フロー

当中間連結会計期間は、税引前中間利益等により、現金及び現金同等物は31,235百万円増加しました。

前年同期との比較においては、法人所得税等の還付額等を主因として43,534百万円の収入増となりました。

２）投資活動によるキャッシュ・フロー

当中間連結会計期間は、有形固定資産及び無形資産の取得による支出、その他の金融資産の売却及び償還による収入等により、現金及び現金同等物は△50百万円減少しました。

前年同期との比較においては、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出の減少等を主因として56,665百万円の支出減となりました。

３）財務活動によるキャッシュ・フロー

当中間連結会計期間は、配当金の支払額等により、現金及び現金同等物は△12,632百万円減少しました。

前年同期との比較においては、配当金の支払額の増加等を主因として△1,883百万円の支出増となりました。

(資本の財源、資金の流動性に係る情報)

１) 基本方針

当社グループは将来にわたり競争力を維持強化し、企業価値を高めていくことが重要と考えております。

そのため、ビジネスモデル変革による更なる高収益化の実現、ITメガトレンドへのフォーカスによる市場以上の高成長、積極的な成長投資、M&Aによる外部成長、ガバナンスの進化と株主価値の向上等による事業成長に伴う資金需要及び広域災害等の事業リスクに備えて内部留保を確保するとともに、利益配分につきましては株主の皆様に対する適正かつ安定的な配当等を行うことを基本としております。

配当につきましては、連結業績に応じた利益還元を重視し連結配当性向50%を目安といたします。

２) 資金需要及び資金調達の主な内容

当社グループの主要な資金需要は、材料費、外注費、労務費、経費、販売費及び一般管理費等の営業費用並びに設備投資、外部成長のための出資等であります。これらの資金需要につきましては自己資金により充当しております。

手許の運転資金につきましては、当社及び一部の国内子会社において当社のキャッシュマネージメントシステム (CMS) を導入することにより、各社における余剰資金を当社へ集中し、一元管理をしております。また、当社は、日本製鉄㈱のCMSを利用しており、当中間連結会計期間末における預入額114,451百万円は現金及び現金同等物に含めて表示しております。

突発的な資金需要に対しては、大手各行及び親会社である日本製鉄㈱に対し当座借越枠を確保することにより、流動性リスクに備えております。

(３) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、直近の連結業績予想に対し増益の見込みとなったため、2026年７月30日に公表した2027年３月期連結業績予想を以下のとおり修正いたしました。

2027年３月期通期連結業績予想数値の修正 (2026年４月１日～2027年３月31日)

	売上収益	営業利益	税引前利益	親会社の所有者に帰属する当期利益	基本的１株当たり当期利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	419,000	48,500	49,300	32,300	176.52
今回修正予想 (B)	419,000	49,000	49,800	32,400	177.06
増減額 (B-A)	―	500	500	100	0.54
増減率	―	1.0%	1.0%	0.3%	0.3%
(ご参考) 前期実績 (2026年３月期通期)	381,340	44,242	45,286	30,832	168.50

上記に記載した業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づくものであります。実際の業績は、今後様々な要因によって業績予想と異なる可能性があります。

２．要約中間連結財務諸表及び主な注記

（１）要約中間連結財政状態計算書

（単位：百万円）

	前連結会計年度末 (2026年３月31日)	当中間連結会計期間末 (2026年９月30日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	108,798	127,368
営業債権及びその他の債権	73,515	70,058
契約資産	31,341	40,369
棚卸資産	32,973	35,565
その他の金融資産	9,946	7,934
その他の流動資産	18,443	5,891
売却目的で保有する資産	－	423
流動資産合計	275,018	287,610
非流動資産		
有形固定資産	16,235	16,056
使用権資産	25,178	30,226
のれん	31,823	32,567
無形資産	32,580	33,133
持分法で会計処理されている投資	223	240
その他の金融資産	24,515	22,163
退職給付に係る資産	566	500
繰延税金資産	11,134	11,156
その他の非流動資産	306	194
非流動資産合計	142,565	146,239
資産合計	417,584	433,850

(単位：百万円)

	前連結会計年度末 (2026年３月31日)	当中間連結会計期間末 (2026年９月30日)
負債		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	31,517	31,357
契約負債	30,878	31,715
リース負債	6,209	6,181
その他の金融負債	740	750
未払法人所得税等	3,370	9,142
引当金	1,362	1,367
その他の流動負債	19,258	16,636
流動負債合計	93,338	97,153
非流動負債		
リース負債	18,940	23,976
その他の金融負債	102	47
退職給付に係る負債	4,784	4,945
引当金	3,051	3,886
繰延税金負債	7,232	6,931
その他の非流動負債	1,325	1,249
非流動負債合計	35,437	41,037
負債合計	128,775	138,190
資本		
資本金	12,952	12,952
資本剰余金	3,653	3,601
利益剰余金	260,216	266,840
自己株式	△47	△20
その他の資本の構成要素	2,427	2,613
親会社の所有者に帰属する持分合計	279,203	285,988
非支配持分	9,605	9,670
資本合計	288,808	295,659
負債及び資本合計	417,584	433,850

（２）要約中間連結損益計算書及び要約中間連結包括利益計算書

要約中間連結損益計算書

中間連結会計期間

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
売上収益	178,375	198,978
売上原価	△132,242	△145,104
売上総利益	46,132	53,873
販売費及び一般管理費	△28,042	△30,819
持分法による投資損益	15	16
その他収益	253	224
その他費用	△87	△86
営業利益	18,272	23,209
金融収益	692	795
金融費用	△116	△275
税引前中間利益	18,848	23,728
法人所得税費用	△6,232	△8,138
中間利益	12,616	15,589
中間利益の帰属		
親会社の所有者	12,007	14,857
非支配持分	608	732
１株当たり親会社の普通株主に帰属する中間利益		
基本的１株当たり中間利益(円)	65.62	81.19

要約中間連結包括利益計算書

中間連結会計期間

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
中間利益	12,616	15,589
その他の包括利益（税効果考慮後）		
純損益に振り替えられることのない項目		
確定給付負債（資産）の純額の再測定	4	△0
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する資本性金融資産の公正価値の純変動	107	56
純損益に振り替えられることのない項目合計	112	55
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	△419	145
純損益に振り替えられる可能性のある項目合計	△419	145
その他の包括利益（税効果考慮後）合計	△306	200
中間包括利益合計	12,309	15,790
中間包括利益合計の帰属		
親会社の所有者	11,709	15,044
非支配持分	599	745

（３）要約中間連結持分変動計算書

前中間連結会計期間(自　2025年４月１日　至　2025年９月30日)

(単位：百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分					
					その他の資本の構成要素	
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の包括利益を通じて公正価値で測定する資本性金融資産の公正価値の純変動	確定給付負債(資産)の純額の再測定
2025年４月１日時点の残高	12,952	3,642	242,900	△63	568	－
中間利益	－	－	12,007	－	－	－
その他の包括利益	－	－	－	－	107	4
中間包括利益合計	－	－	12,007	－	107	4
剰余金の配当	－	－	△6,861	－	－	－
自己株式の取得	－	－	－	－	－	－
株式報酬取引	－	△7	－	16	－	－
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	－	－	△3	－	7	△4
企業結合による変動	－	－	－	－	－	－
所有者との取引額等合計	－	△7	△6,865	16	7	△4
2025年９月30日時点の残高	12,952	3,635	248,042	△47	684	－

	親会社の所有者に帰属する持分			非支配持分	資本合計
	その他の資本の構成要素		合計		
	在外営業活動体の換算差額	合計			
2025年４月１日時点の残高	1,173	1,741	261,173	8,641	269,815
中間利益	－	－	12,007	608	12,616
その他の包括利益	△409	△297	△297	△9	△306
中間包括利益合計	△409	△297	11,709	599	12,309
剰余金の配当	－	－	△6,861	△410	△7,271
自己株式の取得	－	－	－	－	－
株式報酬取引	－	－	9	－	9
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	－	3	－	－	－
企業結合による変動	－	－	－	78	78
所有者との取引額等合計	－	3	△6,852	△331	△7,184
2025年９月30日時点の残高	764	1,448	266,031	8,908	274,940

当中間連結会計期間(自　2026年４月１日　至　2026年９月30日)

(単位：百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分					
					その他の資本の構成要素	
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の包括利益を通じて公正価値で測定する資本性金融資産の公正価値の純変動	確定給付負債(資産)の純額の再測定
2026年４月１日時点の残高	12,952	3,653	260,216	△47	960	－
中間利益	－	－	14,857	－	－	－
その他の包括利益	－	－	－	－	56	△0
中間包括利益合計	－	－	14,857	－	56	△0
剰余金の配当	－	－	△8,234	－	－	－
自己株式の取得	－	－	－	△0	－	－
株式報酬取引	－	△12	－	27	－	－
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	－	－	1	－	△2	0
企業結合による変動	－	－	－	－	－	－
支配継続子会社に対する持分変動	－	△39	－	－	－	－
所有者との取引額等合計	－	△51	△8,232	26	△2	0
2026年９月30日時点の残高	12,952	3,601	266,840	△20	1,014	－

	親会社の所有者に帰属する持分			非支配持分	資本合計
	その他の資本の構成要素		合計		
	在外営業活動体の換算差額	合計			
2026年４月１日時点の残高	1,467	2,427	279,203	9,605	288,808
中間利益	－	－	14,857	732	15,589
その他の包括利益	131	187	187	13	200
中間包括利益合計	131	187	15,044	745	15,790
剰余金の配当	－	－	△8,234	△512	△8,747
自己株式の取得	－	－	△0	－	△0
株式報酬取引	－	－	15	－	15
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	－	△1	－	－	－
企業結合による変動	－	－	－	△189	△189
支配継続子会社に対する持分変動	－	－	△39	22	△17
所有者との取引額等合計	－	△1	△8,259	△680	△8,939
2026年９月30日時点の残高	1,599	2,613	285,988	9,670	295,659

（４）要約中間連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前中間利益	18,848	23,728
減価償却費及び償却費	6,367	7,075
減損損失	－	147
受取利息	△573	△704
受取配当金	△63	△91
支払利息	98	99
持分法による投資損益(△は益)	△15	△16
営業債権及びその他の債権の増減額(△は増加)	10,315	3,659
契約資産の増減額(△は増加)	△8,253	△9,033
棚卸資産の増減額(△は増加)	△882	△2,512
営業債務及びその他の債務の増減額(△は減少)	△3,336	1,036
未払賞与の増減額(△は減少)	350	△1,144
未払消費税等の増減額(△は減少)	△838	△1,521
その他	495	642
小計	22,512	21,364
利息の受取額	606	723
配当金の受取額	63	65
利息の支払額	△111	△99
和解金の支払額	△5,000	－
法人所得税の支払額又は還付額（△は支払）	△30,369	9,180
営業活動によるキャッシュ・フロー	△12,299	31,235
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△495	△495
定期預金の払出による収入	400	537
有形固定資産及び無形資産の取得による支出	△1,691	△4,391
その他の金融資産の取得による支出	△547	△760
その他の金融資産の売却及び償還による収入	138	5,219
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△54,397	－
その他	△124	△160
投資活動によるキャッシュ・フロー	△56,716	△50
財務活動によるキャッシュ・フロー		
リース負債の返済による支払額	△3,472	△3,485
配当金の支払額	△6,861	△8,234
非支配持分への配当金の支払額	△410	△512
その他	△5	△400
財務活動によるキャッシュ・フロー	△10,749	△12,632
現金及び現金同等物に係る換算差額	△238	17
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△80,003	18,569
現金及び現金同等物の期首残高	192,931	108,798
現金及び現金同等物の中間期末残高	112,927	127,368

（５）要約中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

なお、当社グループの事業内容は、情報システムの企画からソフトウェアの開発、ハードウェア等機器の選定及びシステムの運用や保守等、総合的なサービスであり、区分すべきセグメントが存在しないため、情報サービス事業の単一セグメントであります。

そのため、セグメント情報については記載を省略しております。

証券コード：2327（東証プライム、名証、福証）

2026年度 第2四半期 決算実績
ならびに 2025–2027 中期経営計画の進捗

2026年11月2日

日鉄ソリューションズ株式会社
代表取締役社長　玉置 和彦

NS Solutions

NIPPON STEEL

Copyright © 2026 NS Solutions Corporation. All Rights Reserved.

EXECUTIVE SUMMARY

上期は売上・利益とも過去最高、通期営業利益見通しを490億円へ上方修正

2026年度 上期実績

売上収益	営業利益	当期利益*
1,990 億円	232 億円	149 億円
前年同期比 +12%　+206億円	前年同期比 +27%　+49億円	前年同期比 +24%　+28億円

良好な需要環境の下、上期として売上収益・営業利益・当期利益ともに過去最高を更新

2026年度 通期見通し（上方修正）

売上収益	営業利益	当期利益*
4,190 億円	490 億円	324 億円
前年比+10% +377億円／前回比±0億円	前年比+11% +48億円／前回比+5億円	前年比+5% +16億円／前回比+1億円

＊親会社の所有者に帰属する当期利益（以下同じ）

変革のハイライト

TAM型ビジネスモデルへの移行

2026年度は売上の50%程度がTAM型となる見通し

COREPEAK© 立上げ

オファリングブランド。
初年度100億円規模の
新規ビジネス創出を目標

Anthropicと戦略的パートナーシップ

国内ユーザー系SIerとして初。
製鉄の現場を起点に
AI-Native化を推進

Copyright © 2026 NS Solutions Corporation. All Rights Reserved.

01

2026年度 上期実績

上期：増収増益で過去最高を更新

Copyright © 2026 NS Solutions Corporation. All Rights Reserved.

1. 2026年度上期実績

増収増益で上期過去最高値を更新 ― 粗利率も1.2pt改善

	FY2025 上期	FY2026 上期	差異	増減率	前回 見通し	前回比
売上収益	1,784	1,990	+206	+12%	2,000	-10
売上総利益	461	539	+77	+17%	545	-6
売上総利益率	*25.9%*	*27.1%*	*+1.2pt*		*27.3%*	*-0.2pt*
販管費等	279	307	+28	+10%	330	-23
営業利益	183	232	+49	+27%	215	+17
営業利益率	*10.2%*	*11.7%*	*+1.4pt*		*10.8%*	*+0.9pt*
税引前利益	188	237	+49	+26%	219	+18
親会社の所有者に帰属する当期利益	120	149	+28	+24%	133	+16

※前回見通し：2026年7月30日（1Q決算発表時）公表の第2四半期（累計）連結業績予想

売上収益　1,990億円（+12%）
国内IT需要は全般的に好調な状況が継続

売上総利益率　27.1%（+1.2pt改善）
高粗利案件の増加、
インフォコム取得時期差

販管費等　+28億円
インフォコム取得時期差、
セキュリティ強化投資、管理システム刷新費用等

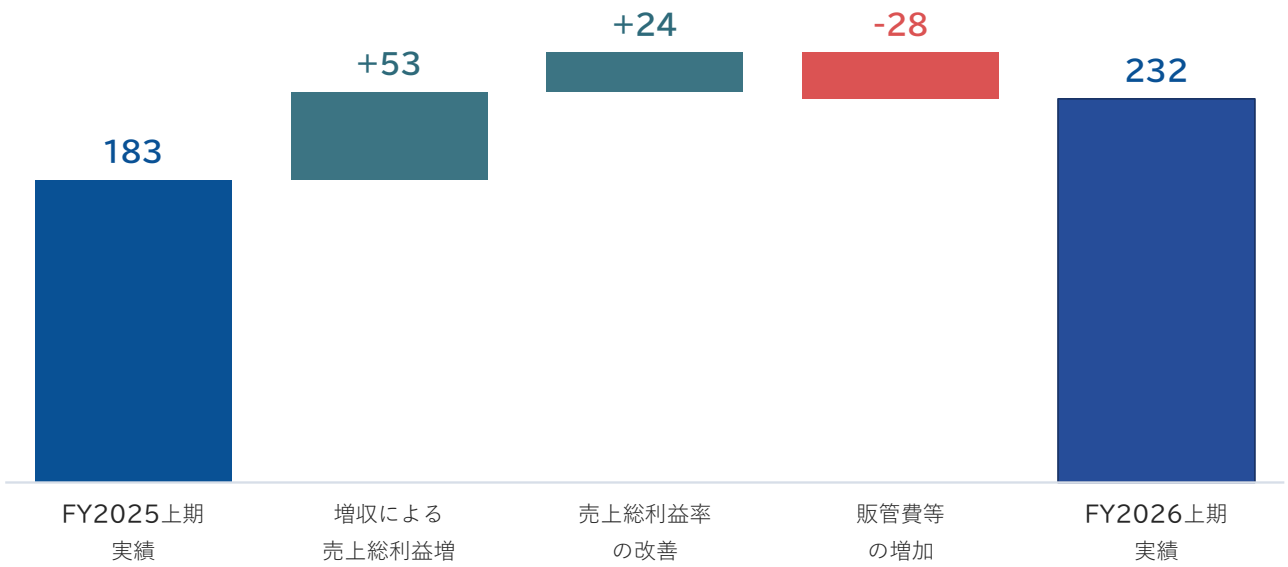
営業利益　232億円（+27%）
上期として過去最高を更新

単位：億円

Copyright © 2026 NS Solutions Corporation. All Rights Reserved.

2. 営業利益増減要因(上期)

増収と粗利率改善で+77億円、販管費等の増加28億円を吸収し+49億円の増益



インフォコム影響(PPA・取得関連費用を含む) FY2025上期 → FY2026上期、億円

売上収益	売上総利益	販管費等	営業利益
70 → 132	32 → 61	36 → 57	▲4 → +4
+63億円	+29億円	+22億円	+7億円
	粗利率 45.9%→46.0%	PPA・取得関連費用を含む	PPA等除き 8→12(+3)

増収による売上総利益の増加 +53

インフォコム影響(規模差)	+17
その他	+36

売上総利益率の改善 +24

インフォコム影響(率差)	+12
前年赤字案件解消	+6
粗利率の改善(官公庁案件・TAM型比率拡大等)	+6

販管費等の増加 -28

インフォコム影響	-22
管理システム刷新	-13
その他(既存システム費用減他)	+7

前回見通し(7/30)比 +17億円(215→232億円)

規模	-3	売上収益 前回見通し比-10億円
粗利率	-3	粗利率改善+7、原価への振替-10※
販管費等	+23	下期への期ズレ+10、その他+3、原価への振替+10※

※販管費から原価への計上区分の振替(営業利益への影響なし)

単位:億円

Copyright © 2026 NS Solutions Corporation. All Rights Reserved.

3. サービス・顧客業種別 売上収益／営業利益（上期）

産業・鉄鋼/コンサルティング＆デジタル部門が好調

	FY2025上期			FY2026上期			増減			売上増減率
	売上収益	営業利益	営業利益率	売上収益	営業利益	営業利益率	売上収益	営業利益	営業利益率	
ビジネスソリューション	1,388	157	11.3%	1,482	160	10.8%	+94	+3	-0.5pt	+7%
産業・鉄鋼	749	93	12.4%	843	95	11.3%	+94	+2	-1.2pt	+13%
流通・プラットフォーマー	361	34	9.5%	350	30	8.6%	-11	-4	-0.9pt	-3%
金融	278	30	10.6%	288	35	12.3%	+10	+6	+1.7pt	+4%
コンサルティング＆デジタルサービス	695	32	4.6%	793	87	10.9%	+98	+55	+6.3pt	+14%
その他・調整額	-299	-6	–	-285	-15	–	+14	-9	–	
合計	1,784	183	10.2%	1,990	232	11.7%	+206	+49	+1.4pt	+12%
(参考)日本製鉄向け	*354*			*327*			*-27*			*-7%*

※営業利益率＝営業利益÷売上収益。グループ会社分は各サービス・顧客業種に含めて表示（インフォコムはFY2025 2Qより連結）

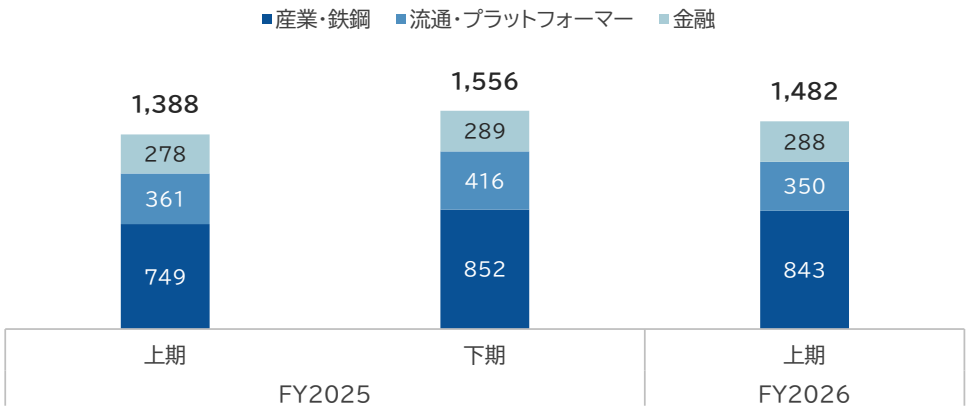
単位：億円

Copyright © 2026 NS Solutions Corporation. All Rights Reserved.

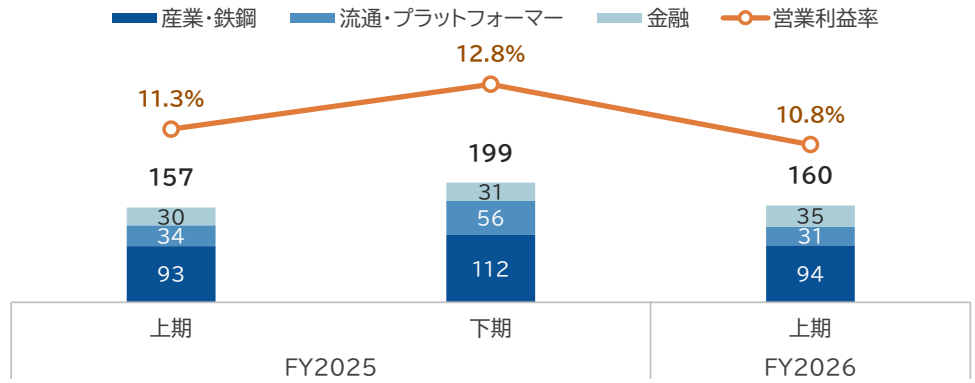
4. ビジネスソリューション部門の状況

上期は産業・鉄鋼が牽引し、売上+94億円(+7%)・営業利益+3億円の増収増益

売上収益(億円)



営業利益(億円)・営業利益率(%) 積上げ/数値は合計/折線は部門計の営業利益率



増減要因(上期 前年同期比)

売上収益(対前年同期)

産業・鉄鋼 +13%

売上 843 (+94) 営業利益 95 (+2) 利益率 11.3% (-1.2pt)

売上:インフォコム新規連結+49、自動車・化学素材・電機/産業機械・食品・鉄道等の産業分野+37、鉄鋼分野-24

利益:販管費増(PPA等)と鉄鋼分野の減収による利益減をインフォコム連結と産業分野の増収による粗利増で相殺し前年並み

流通・プラットフォーマー -3%

売上 350 (-11) 営業利益 30 (-4) 利益率 8.6% (-0.9pt)

売上:インフォコム連結(ヘルスケア)+14の一方、小売-14、情報サービス-10

利益:減収とインフォコム関連の販管費増(PPA等)により減益

金融 +4%

売上 288 (+10) 営業利益 35 (+6) 利益率 12.3% (+1.7pt)

売上:グループ会社主体の増収(新規連結含む)

利益:増収と粗利率改善により増益、利益率は部門内で最も改善

※各要因の数値は前年同期比の増減額(億円)

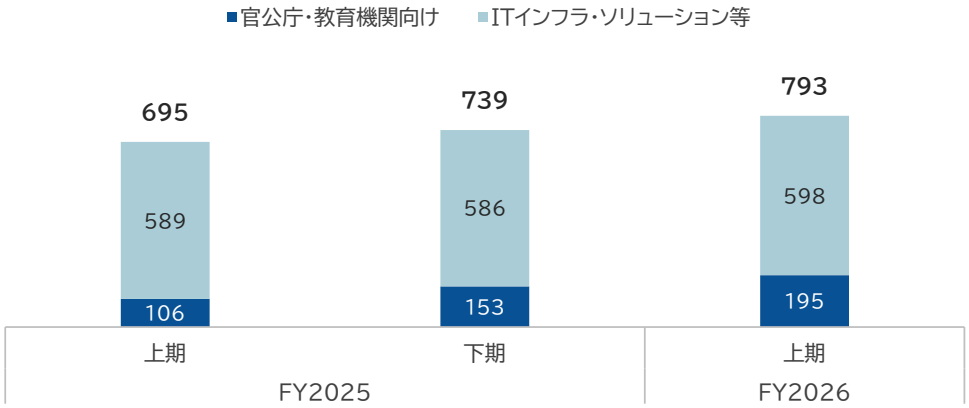
単位:億円

Copyright © 2026 NS Solutions Corporation. All Rights Reserved.

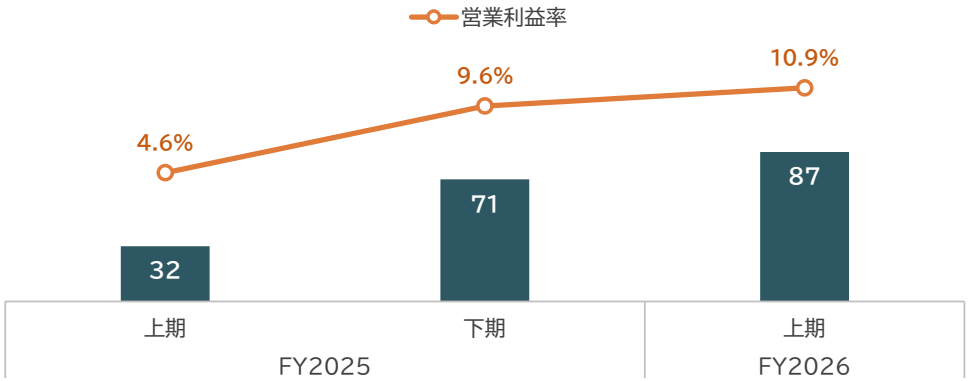
5. コンサルティング＆デジタルサービス部門の状況

上期は官公庁向け大型案件により売上+98億円(+14%)・営業利益+55億円

売上収益(億円)



営業利益(億円)・営業利益率(%)



増減要因(上期 前年同期比)

売上収益
(対前年同期)

コンサルティング＆デジタルサービス計

+14%

売上 793 (+98)　営業利益 87 (+55)　利益率 10.9% (+6.3pt)

売上:官公庁向け大型案件+111を主因に増収。
利益:官公庁向け大型案件等で大幅増益

官公庁・教育機関向け

売上:官公庁向け大型案件+111

ITインフラ・ソリューション等

売上:プロダクト+13、通信+11、パブリッククラウド+5の一方、社内向け-23

※各要因の数値は前年同期比の増減額(億円)

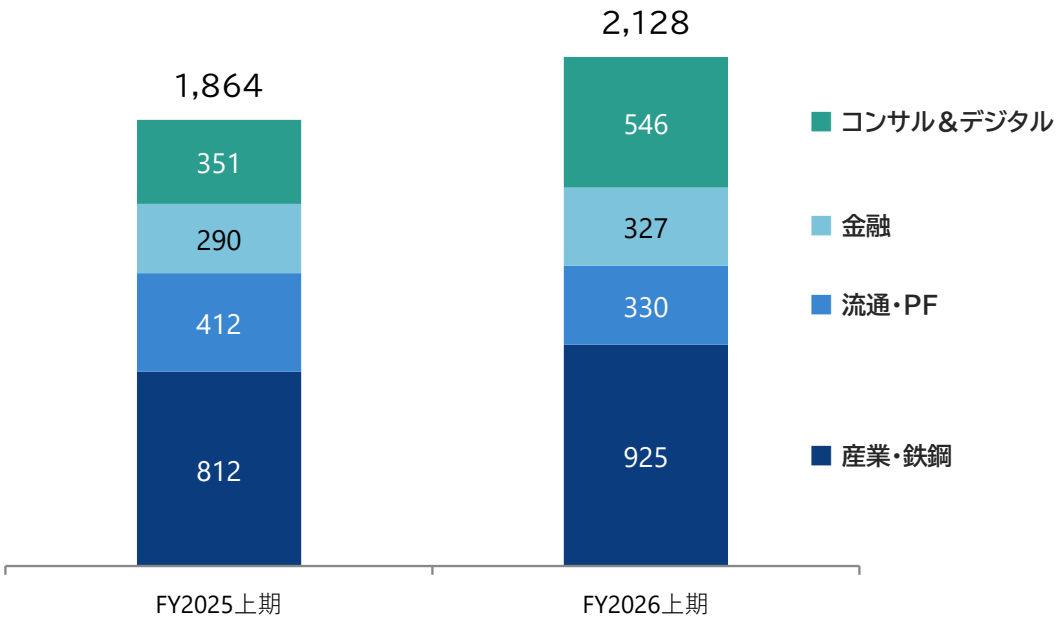
単位:億円

Copyright © 2026 NS Solutions Corporation. All Rights Reserved.

6. 受注高の状況(上期)

上期受注高2,128億円(+14%)、前期のインフォコム受注残の取込等を考慮した実質増加率は20%程度

1,864 → **2,128億円** +264億円 / +14%



産業・鉄鋼 925億円(+113億円) **+14%**
- 産業分野が大幅増
- 鉄鋼分野は前年並み
- 前年同期のインフォコム受注残取込*の反動を含む

流通・プラットフォーマー 330億円(-82億円) **-20%**
- 本体の減は時期ズレが主体
- 前年同期のインフォコム受注残取込*の反動を含む

金融 327億円(+37億円) **+13%**
- 本体、グループ会社ともに増加

コンサル&デジタル 546億円(+195億円) **+56%**
- 官公庁向け主体に大幅増
- グループ会社も増加

*インフォコム受注残取込影響:連結時に受注として取り込んだインフォコムの受注残額(175億円)

※( )内は前年同期比の増減額

単位:億円

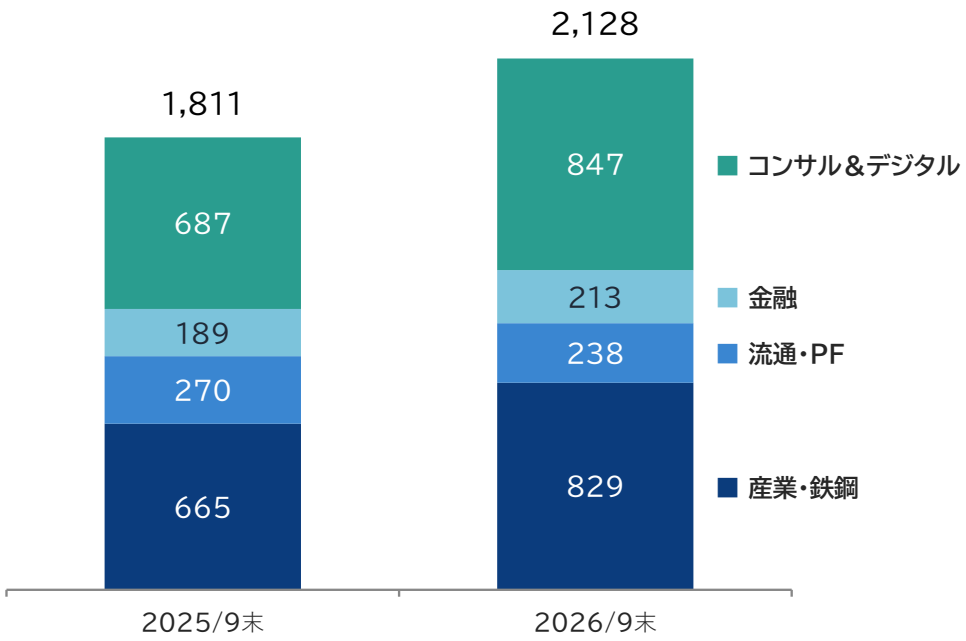
Copyright © 2026 NS Solutions Corporation. All Rights Reserved.

7. 受注残高の状況

9月末受注残は2,128億円(+18%)、下期売上見通しのカバー率は56%(+2pt)

1,811 → 2,128億円 +317億円 / +18%

セグメント別受注残高(億円)



セグメント別の状況(9月末受注残・前年同期比)

- **産業・鉄鋼** 829億円(+164億円 / +25%)
  産業分野が大幅増、鉄鋼分野、グループ会社も増加
- **流通・PF** 238億円(-32億円 / -12%)
  本体、グループ会社共に減
- **金融** 213億円(+25億円 / +13%)
  本体、グループ会社共に増
- **コンサル&デジタル** 847億円(+160億円 / +23%)
  官公庁向け主体に大幅増

下期売上収益に対するカバー率

FY2026下期(売上収益見通し 2,200億円)

1,233	967	56%

FY2025下期(実績 2,030億円)

1,100	930	54%

■ 9月末受注残から計上 □ 今後の受注・計上

カバー率は前年同期から2pt上昇

単位:億円

Copyright © 2026 NS Solutions Corporation. All Rights Reserved.

8. 連結バランスシート

売上規模の拡大に伴いBSも拡大 ― 総資産は4,339億円(3月末比+163億円)に増加

連結財政状態の要約(億円) 2026年3月末 → 2026年9月末

	2026/3末	2026/9末	増減
現金及び現金同等物	**1,088**	**1,274**	**+186**
営業債権・契約資産	1,049	1,104	+56
のれん・無形資産	644	657	+13
その他資産	1,395	1,303	-92
資産合計	**4,176**	**4,339**	**+163**
リース負債	252	302	+50
その他負債	1,036	1,080	+44
負債合計	**1,288**	**1,382**	**+94**
資本合計	**2,888**	**2,957**	**+69**
負債及び資本合計	**4,176**	**4,339**	**+163**

※営業債権・契約資産は「営業債権及びその他の債権」と「契約資産」の合計。のれん・無形資産は「のれん」と「無形資産」の合計

上期の主な増減(3月末比)

現金及び現金同等物 +186億円
営業CF +312(うち法人所得税の還付 +92)、投資CF -1
財務CF -126(期末配当 -82、リース負債返済 -35)

営業債権・契約資産 +56億円
契約資産 +90(下期の売上計上に向けた進行中案件の積み上がり)
営業債権 -35

その他資産 -92億円
3月末に計上していた未収還付税(127)の還付等

リース負債 +50億円
オフィス等の使用権資産の増加(+50)に対応

資本合計 +69億円
中間利益 +149、期末配当の支払 -82

単位:億円

Copyright © 2026 NS Solutions Corporation. All Rights Reserved.

9. 連結キャッシュフロー

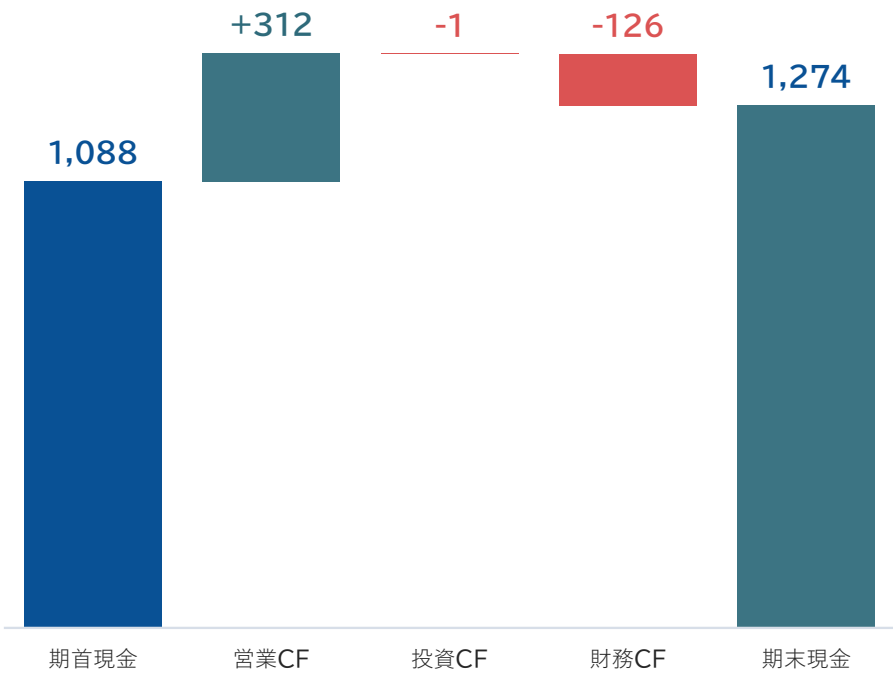
営業CF312億円 ― 手元資金1,274億円はM&A・成長投資の待機資金として規律をもって配分

	FY2025上期	FY2026上期	増減
営業活動によるCF	-123	312	+435
投資活動によるCF	-567	-1	+567
フリーCF	-690	312	+1,002
財務活動によるCF	-107	-126	-19
現金及び現金同等物 期末残高	1,129	1,274	+144

- **営業CF**：増益に加え、前年同期の法人所得税支払（約300億円）等が剥落。
  今期は法人所得税の還付（約90億円）もあり大幅改善
- **投資CF**：前年同期はインフォコム取得（約550億円）を実行。
  今期は設備・SW投資（-44）と有価証券償還（+52）でほぼ中立
- **財務CF**：配当性向50%方針の期末配当（-82）とリース負債返済（-35）

資金配分の方針　**成長投資（売上比5%）・M&A（借入も活用）・株主還元（配当性向50%）を規律をもって配分**

FY2026上期 現金及び現金同等物の増減



単位：億円

Copyright © 2026 NS Solutions Corporation. All Rights Reserved.

02

2026年度 業績見通し

通期ガイダンスは営業利益490億円に上方修正

Copyright © 2026 NS Solutions Corporation. All Rights Reserved.

10. 2026年度ガイダンス（上方修正）

通期営業利益を485→490億円へ上方修正、年間配当は89.0円へ（前回見通し比+2.0円）

売上収益

4,190 億円

前年比+10% +377億円／前回比±0億円

営業利益

490 億円

前年比+11% +48億円／前回比+5億円

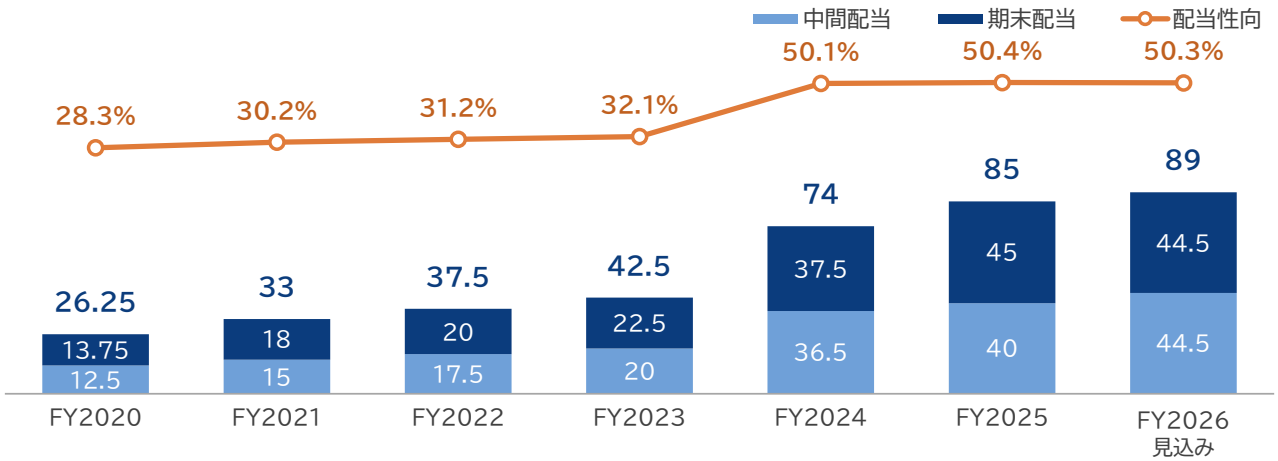
当期利益*

324 億円

前年比+5% +16億円／前回比+1億円

＊親会社の所有者に帰属する当期利益

配当の推移（1株当たり配当金：円、配当性向：%）



※FY2023以前は2024年7月1日付株式分割（1株→2株）後のベースに換算。FY2024より配当性向の目安を30%→50%へ変更

前期配当および当期配当見通し

	FY2025	FY2026 見通し	対前年
当期利益（億円）	308	**324**	+16
EPS（円/株）	168.5	**177.1**	+8.6
中間配当（円/株）	40.0	**44.5**	+4.5
期末配当（円/株）	45.0	**44.5**	-0.5
通期配当（円/株）	85.0	**89.0**	+4.0
配当性向	50.4%	**50.3%**	

年間配当 89.0円 前年比+4.0円・前回比+2.0円、配当性向 50.3%

Copyright © 2026 NS Solutions Corporation. All Rights Reserved.

11. 2026年度半期別業績（上期実績・下期見通し）

上期進捗率は売上・営業利益ともに47%、通期営業利益は485→490億円へ上方修正

	FY2025実績			FY2026（通期見通し 上方修正）			対前年（上段：増減率／下段：差異）		
	上期	下期	通期	上期実績	下期見通し	通期見通し	上期	下期	通期
売上収益	1,784	2,030	3,813	1,990	2,200	**4,190**	+12% +206	+8% +171	+10% +377
売上総利益	461	557	1,018	539	591	**1,130**	+17% +77	+6% +35	+11% +112
売上総利益率	*25.9%*	*27.4%*	*26.7%*	*27.1%*	*26.9%*	*27.0%*	*+1.2pt*	*-0.6pt*	*+0.3pt*
販売費及び一般管理費等	279	297	576	307	333	**640**	+10% +28	+12% +36	+11% +64
営業利益	183	260	442	232	258	**490**	+27% +49	-1% -2	+11% +48
営業利益率	*10.2%*	*12.8%*	*11.6%*	*11.7%*	*11.7%*	*11.7%*	*+1.4pt*	*-1.1pt*	*+0.1pt*
税引前利益	188	264	453	237	261	**498**	+26% +49	-1% -4	+10% +45
親会社の所有者に帰属する当期利益	120	188	308	149	175	**324**	+24% +28	-7% -13	+5% +16

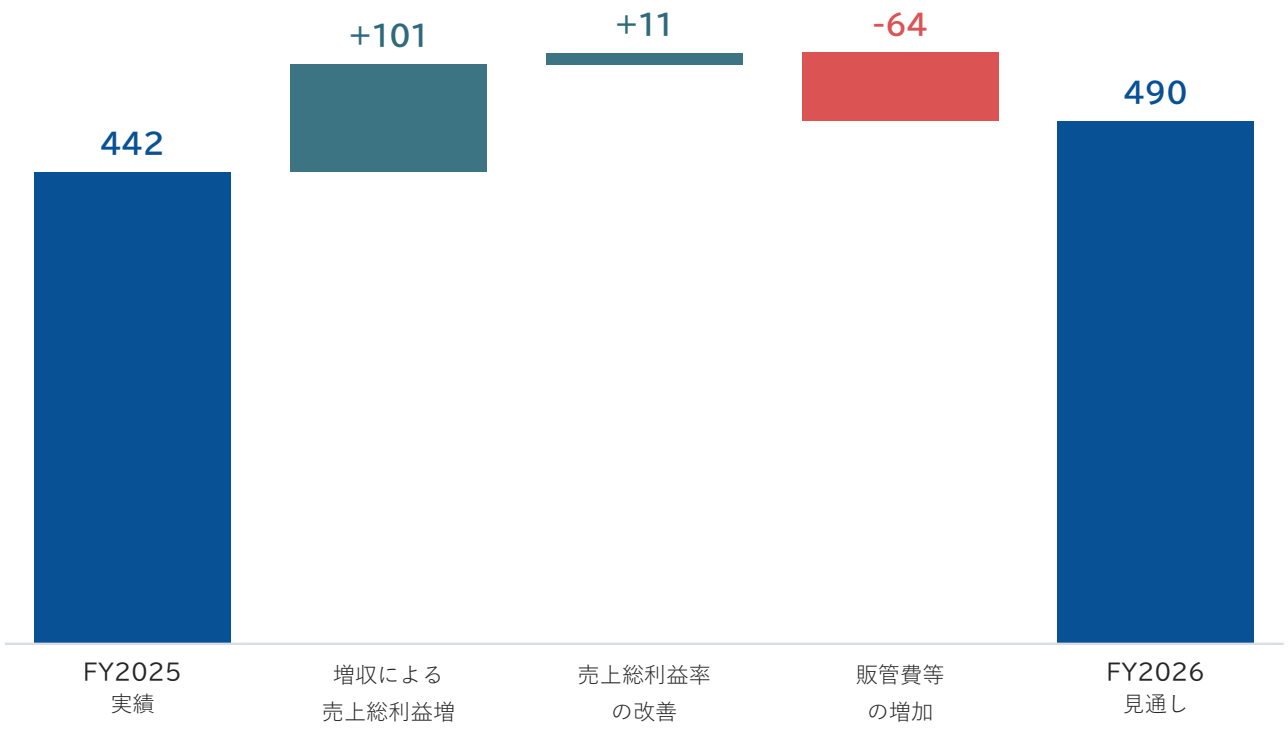
上期進捗率　売上収益 47%　営業利益 47%　当期利益 46%　※ 当社は例年、下期に売上・利益が偏重する傾向

単位：億円

Copyright © 2026 NS Solutions Corporation. All Rights Reserved.

12. 2026年度見通し 営業利益増減分析(上方修正)

FY2025実績442億円 → FY2026見通し490億円(+48億円)― 前回見通し比+5億円の上方修正



増収による売上総利益増	**+101**
インフォコム影響(規模差)	+29
その他	+72
売上総利益率の改善	**+11**
インフォコム影響(率差)	+6
前年赤字案件解消	+6
AI、自社アセット投資	-10
その他	+9
販管費等の増加	**-64**
インフォコム影響	-21
管理システム刷新	-26
セキュリティ強化	-7
その他	-11

前回見通し(7/30)比 +5億円(485→490億円)

粗利率	-20	粗利率改善+10、新規施策・AIライセンス-10 原価への振替-20※
販管費等	+25	原価への振替+20※、その他+5

規模:売上収益4,190億円は前回見通しから変更なし
※販管費から原価への計上区分の振替(営業利益への影響なし)

単位:億円

Copyright © 2026 NS Solutions Corporation. All Rights Reserved.

03

2025–2027 中期経営計画の進捗状況

折り返し時点の到達点・残余課題・達成経路

Copyright © 2026 NS Solutions Corporation. All Rights Reserved.

14. 2025–2027中期経営計画の概要

2030ビジョンの前半3カ年 — 4つの抜本的変革で営業利益1,000億円への基盤を構築

NSSOL 2030ビジョン **”Social Value Producer with Digital”**

2027年度 定量目標

指標	2027年度目標	2025年度実績
売上収益	**4,500億円**	3,813億円
営業利益	**600億円**	442億円
営業利益率	**13%**	11.6%
ROE	**13%程度**	11.4%
TAM型売上比率	**75%程度**	38%程度

出所：当社 2025–2027中期経営計画（2025年2月公表）、2025年度決算説明資料（2026年4月）

4つの抜本的変革

① 事業収益モデル
TAM型収益モデルへの転換

② 顧客アプローチ
オファリング起点で構想～実装を一貫支援

③ 技術獲得・適用プロセス
AI駆動開発による生産性向上

④ 社内業務・マネジメント
管理部門の集約・標準化

成長投資・株主還元

M&A投資	M&A除く成長投資	株主還元
3カ年 1,500億円	**売上収益比 5%程度**	**配当性向 50%**

Copyright © 2026 NS Solutions Corporation. All Rights Reserved.

15. 中期経営計画の進捗サマリー

営業利益・ROEは要加速、利益率向上と外部成長を最優先に推進

売上収益 軌道上

3,383 → **4,500** 億円

FY24実績 → FY27目標

FY26見込 4,190億円 **到達度 72%**

営業利益 要加速

385 → **600** 億円

FY24実績 → FY27目標

FY26見込 490億円 **到達度 49%**

ROE 要加速

10.9% → **13%** 程度

FY24実績 → FY27目標

FY26見込 11%程度 **到達度 19%**

TAM型比率 変革進行

5% → **75%** 程度

FY24実績 → FY27目標

FY26見込 51%程度 **到達度 66%**

年度別推移

	売上収益	営業利益	ROE	TAM型比率
FY24実績	3,383	385	10.9%	5%程度
FY25実績	3,813	442	11.4%	38%程度
FY26上期実績	1,990	232	10.5%*	45%程度
FY26見込み	**4,190**	**490**	**11%程度**	**51%程度**
FY27目標	**4,500**	**600**	**13%程度**	**75%程度**

*ROEは上期の親会社所有者帰属当期利益を年率換算(149億円×2÷期首・期末平均資本)した参考値

現在地

FY25は過去最高益・ROE改善。
4つの変革が実行段階に入り、社員の意識・行動も変化

残差

営業利益はFY26見込みから+110億円の積み上げが必要

達成経路

オーガニックは資本コスト上昇を踏まえた利益率向上を、
外部成長はM&A施策の推進を加速

単位:億円

Copyright © 2026 NS Solutions Corporation. All Rights Reserved.

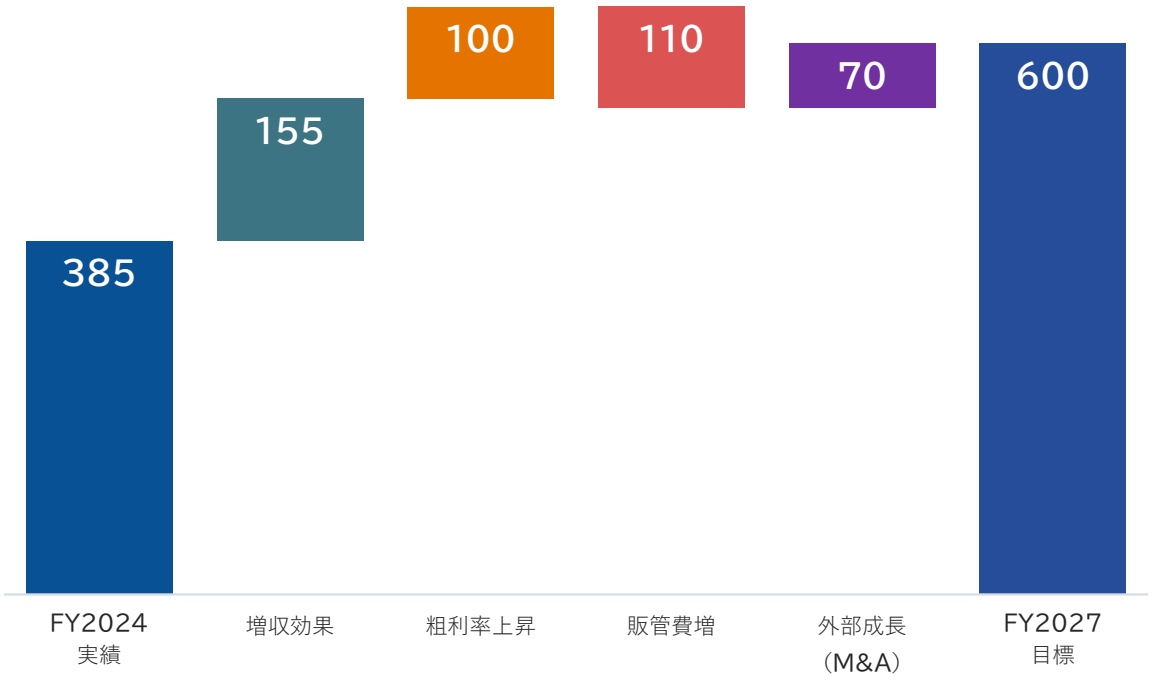
16. 中期目標 営業利益600億円への成長イメージと進捗

FY2024実績385億円 → 内部成長+145・外部成長+70で600億円へ

粗利率の上昇と外部成長の加速が課題 → 前倒しで使用した販管費の回収を強化

2025－2027 中期経営計画営業利益成長要因

（当初計画から2024年度見通し→実績のデータを補正）



計画値 vs FY2026見込み

FY2026見込み 490億円 ＝ オーガニック465 ＋ 外部成長25

オーガニック累計到達度 55%（385 → FY26見込465 ／ 目標530）

増収効果 計画 +155 ～26見込み+118 **76%**

IT需要取り込み／顧客基盤拡大

粗利率上昇 計画 +100 ～26見込み+50 **50%**

販売価格改善・販売構成改善・TAM型転換

販管費増 計画 -110 ～26見込 -88 **80%**

成長投資・人的資本強化・管理基盤刷新

外部成長（M&A） 計画 +70 FY26見込 +25 **36%**

インフォコム連結貢献（PPA等反映後）

単位：億円

Copyright © 2026 NS Solutions Corporation. All Rights Reserved.

17. 取組みを加速させる事項：粗利率改善

利益率向上を最優先 ― 変革の成果を「利益として残す」4つのレバー

01 TAM比率の向上

課題

比率は上昇、
利益率への反映が不十分

強化する取組み

- T・A・M型別に粗利率目標を設定
- アセット再利用で原価低減、COREPEAKを実案件へ

02 価値ベースPricingへの転換

課題

人月前提の商慣行

強化する取組み

- 先行案件の契約化を加速
- 成果連動・固定価格・サブスク契約を標準化

03 AI活用による生産性向上

課題

小規模案件への適用が遅れ、
計画未達

強化する取組み

- Claude Code等を標準プロセスに組込み
- 効率化分を利益に残す契約設計、全社適用
（FY27 +20%）

04 不採算の抑制

課題

不採算が改善効果を相殺するリスク

強化する取組み

- 提案時リスク審査と上流ゲートを強化
- 見積の標準化と誤差率の管理

Copyright © 2026 NS Solutions Corporation. All Rights Reserved.

18. 事業収益モデルの変革 × 顧客アプローチの変革の相互作用

COREPEAKの実践がT型を増やし、現場へのフィードバックが新たなA型・M型を生む

② 顧客アプローチの変革

COREPEAK© 全社オファリングブランド

「変革シナリオ」で経営課題を構造化し、「オファリングBlock（課題解決アセット群）」を組み合わせて構想から実装まで一気通貫で提供

TAMをオファリング Blockへ組み込み

FDE

循環の担い手
フォワード・デプロイド・エンジニア

実践知見のフィードバック で新たなTAMを創出

① 事業収益モデルの変革

- **T** SI Transformation 次世代SIモデル
- **A** Asset Driven アセット活用型
- **M** Multi Company Platform PF提供モデル

TAM型比率 FY24 5% → FY25 38% → FY26見込 50% → FY27 75%

Social Value Producer with Digital

T型の増加

上流からのアプローチで開発の仕方を当社が主導。
生成AIを組み込んだ高生産性SIへ切り替えやすくなる

A型・M型の創出

現場に入り込むFDEが、オファリング実践で得た知見を持ち帰り還流。顧客の共通課題が浮き彫りになり、アセット化・プラットフォーム化へ

COREPEAKの価値向上

強化されたアセットでオファリングBlockが拡充し、
提案価値がさらに向上。
好循環を全社で回す

COREPEAK起点の売上創出目標
FY2026 100億円 → FY2027 全社売上の10%

A型・M型の主なプロダクト例はAppendixに掲載。FDE＝Forward Deployed Engineer（お客様の現場に入り込み、構想から実装、知見の還流までを担う人材）

Copyright © 2026 NS Solutions Corporation. All Rights Reserved.

19.「投資」「実装」「収益化」の現在地

FY2026上期：先行投資を続けながら、AI活用とインフォコムの成果が利益に転換し始めた

投資
投入した資本｜INPUT(累計)

出資・M&A(累計)

600 億円　インフォコム550、B-Prost等

成長投資(累計)

238 億円　FY25 147+上期 91

人的資本投資(累計)

71 億円　FY25 47+上期 24

現預金の活用

655 億円　25/3末 1,929 → 26/9末 1,274億円

投資規模(累計)

909 億円　M&A・成長投資・人的資本の累計

実装
先行KPI｜LEADING KPI(2026/8)

時間創出効果(全社・月)

23.5万 時間/月　前回比 約1.9倍

同(人月換算)

1,470 人月　月あたり(前回774人月)

生成AI活用率／ほぼ毎日利用

50%超 / 64.5%　開発案件／全社

AIエージェント

2,107 名　社員の32%が業務で利用

生産性向上事例

36% / 45%　要件定義／製作工程

収益化
財務成果｜OUTCOME(FY26上期)

インフォコム営業利益

12 億円　FY26上期(FY25 33)

連結貢献

+4 億円　PPA反映後(FY25 +10)

TAM型比率

45 %　FY26上期(FY25 38%)

営業利益

232 億円　FY26上期 +27%、過去最高

次の刈り取り

600 億円　FY27 営業利益目標

Copyright © 2026 NS Solutions Corporation. All Rights Reserved.

20. 成長投資・M&Aの実績と今後の取り組み

企業価値成長に向けた成長投資・M&Aの遂行 ― 規律をもって案件化を推進

3カ年1,500億円のM&A枠　**執行済 600億円（インフォコム 550、B-Prost 等）**　**残枠 900億円 ― 中計期間内の案件化を推進**

2024年4月～2026年9月：実績 ― 外部成長・資本提携を着実に実行

中期計画前半

2024/4	OSPソリューションズをグループ会社化（現：日鉄ソリューションズ沖縄）
2024/9	リクルートHD株式を全株売却（約743億円）― 成長投資・M&Aの原資を確保
2025/1	WCS ABYAKTA NAWASENA（インドネシア）を子会社化、ローカル市場へ参入
2025年度	インフォコムをグループ化（約550億円） ― 100日PMIで統合、初年度から連結利益に貢献
2025/8～	資本業務提携4件：インテリジェントフォース、デリバリーコンサルティング、N.Avenue、cBioinformatics
2026/5	B-Prostを子会社化 ― 損害保険会社向け基幹システム事業を強化
2026/9	Anthropicと戦略的パートナーシップ契約 ― AIエージェント協働基盤・レガシー刷新へ

2026年10月～2027年3月：今後実行すること

- 重点領域で候補を絞り込み、案件化へ
- インフォコムのシナジーを具体化
- グローバルのケイパビリティ取り込み
- スタートアップとの資本業務提携を継続

成長投資・M&Aの遂行方針

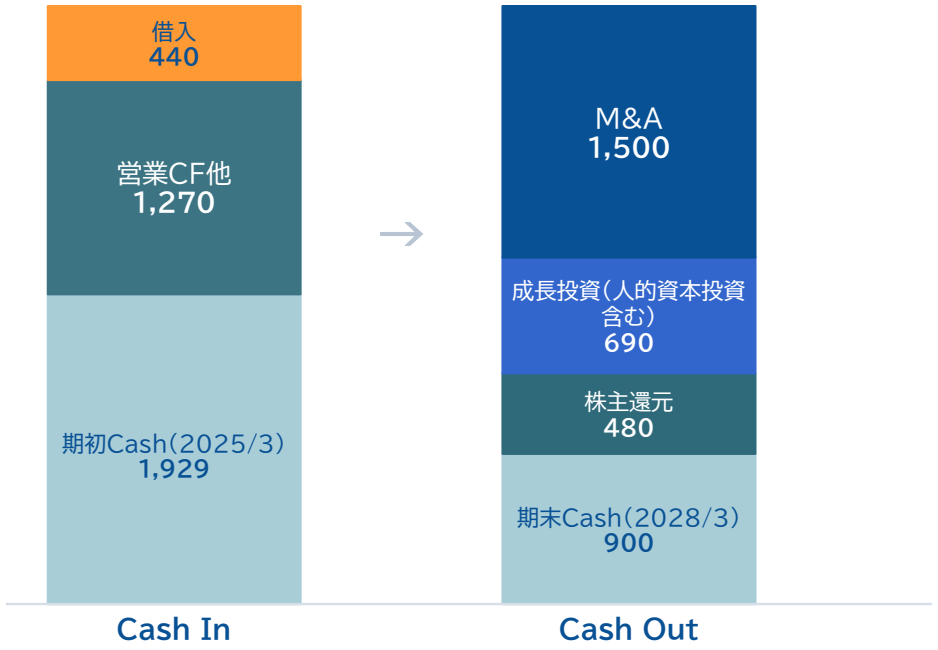
1. **中計期間内に着実に遂行**
   1,500億円のM&A枠と成長投資（売上比5%）を重点領域で案件化
2. **中長期リターン AND 中計目標**
   2030ビジョンの中長期リターンと、営業利益600億円・ROE13%程度を両立
3. **資本効率と財務健全性の両立**
   手元資金を成長投資に活用し現預金900億円へ。借入も活用、配当性向50%維持

Copyright © 2026 NS Solutions Corporation. All Rights Reserved.

21. キャッシュアロケーション — 中期経営計画の方針と進捗

中計方針どおり成長投資・M&A・株主還元へ配分、現預金は運転資金相当の900億円程度へ

2025–2027中期経営計画 キャッシュアロケーション方針（3カ年計画）



財務レバレッジの活用／M&A・成長投資の積極化／安定的な株主還元（配当性向50%）／
運転資本の最適化（月商2.4カ月）

計画に対する進捗（FY2025実績＋FY2026上期 累計） 経過期間 18／36カ月

営業CF他	476 / 1,270	FY25 85（売却税金▲360含む）＋FY26上期 391
出資・M&A	600 / 1,500	FY25 580（インフォコム等）＋B-Prost等
成長投資（人的資本投資含む）	309 / 690	FY25 194＋FY26上期 115。売上比3.9%→5%へ
株主還元	224 / 480	FY25 142＋FY26上期 82（期末配当）。配当性向50%
借入	0 / 440	R&Iから信用格付け取得（10月）、大型案件実行時の準備

▲ 経過期間 50%

現預金 1,929（25/3）→ 1,274（26/9）→ 900億円（28/3目標・月商2.4カ月）

資本コスト上昇への対応
ハードルレートに反映し、利益率向上と資本効率で資本コストを上回るリターンを確保

単位：億円

Copyright © 2026 NS Solutions Corporation. All Rights Reserved.

（参考）当社事業特性とキャッシュ・コンバージョン・サイクルについて

大型開発案件が多くCCCが長いため、平時の適正現預金は月商約2.4カ月

大型システム開発（製造業向け）

個別受託・プロジェクト型




①要件定義 → ②設計 → ③開発 → ④テスト → ⑤検収 → ⑥請求 → ⑦入金

着手から入金まで 6カ月～18カ月程度 — 入金までのリードタイムが長い

主な特徴

- 大型・長期案件が中心
- 複雑な要件・カスタマイズ
- 検収／承認プロセスが多い

財務への影響

- 契約資産・未請求債権が増加
- 売上債権回転日数が長期化
- CCCが長くなる

マネージドサービス・サブスクリプション型

継続課金・ストック型＝A型・M型




サービス提供 → 月次請求 → 入金 → サービス提供 → 月次請求 → 入金

1カ月単位で定常的に繰り返し — 請求・回収が短期

主な特徴

- 継続的なサービス提供
- 月額・定額課金が中心
- 請求／回収が定常的・短期

財務への影響

- 売上債権回転日数が短い
- 契約負債（前受収益）が増加
- CCCが短くなる

同業他社の傾向（例）とNSSOLの状況（2027年度目標）

	同業A社	B社	C社	D社	NSSOL
顧客・販売構成	金融証券主体	サービス・ストック主体	保守・サービス比率高い	当社と似た構成	**製造業中心、大型開発比率が高い**
CCC（月商換算）	約1.95カ月	約1.30カ月	約1.89カ月	約5.05カ月	**約68日 ＝ 約2.27カ月**

Copyright © 2026 NS Solutions Corporation. All Rights Reserved.

22. 残り18カ月の重点施策と進捗管理

6つの施策を半期ごとのマイルストーンで進捗管理し、先行KPIで早期に軌道修正

	FY26下期	FY27	
既存事業	案件獲得・価格是正	価値ベース契約拡大	利益最大化
TAM型拡大	対象案件拡大	粗利率上昇	利益貢献定着
全社生産性向上	AI効果顕在化	AI駆動開発の加速	AIネイティブへの移行
インフォコム	PMI課題解消	シナジー拡大	収益貢献加速
M&A	案件遂行		次期中期に向けた必要Piece探索
資本配分	投資・還元実行		目標資本構成実現

各施策は **効果額** × **責任部門** × **先行KPI** × **判断期限** をセットで管理

進捗管理の仕組み

施策ごとの管理項目

- 効果額
- 責任部門
- 先行KPI
- 判断

モニタリングとレビューのサイクル

- **月次** KPIモニタリング
  戦略実行マネジメントセンターが集計・分析
- **四半期** 経営会議・取締役会で審議
  進捗と課題を確認し、打ち手を決定
- **半期** マイルストーン到達判定
  半期ごとの到達点を確認
- **半期** 決算説明会で開示
  実績・KPI・事例で進捗を説明

↺ レビュー結果を各施策に反映し、次のサイクルへ

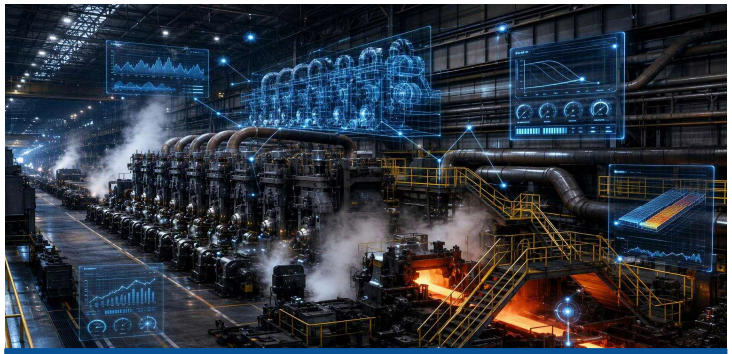
Copyright © 2026 NS Solutions Corporation. All Rights Reserved.

23. Anthropicとの戦略的パートナーシップ

規模ではなく「現場」で勝つ ― AnthropicのAI技術 × NSSOLの業務知見・構築力

先行する大手SIer:　全社展開の「規模」で先行

NSSOL（2026年9月）国内ユーザー系SIerとして初の戦略的提携
製鉄の「IT・OT現場」で差別化



Client Zero：日本製鉄の現場 × Claude

01
AIエージェント協働基盤

散在するデータ・プロセスをAIエージェントで連携し、形式知化

02
レガシー刷新

Claude Codeで診断～移行を一貫支援し、ヘッドレスERPも提供計画

03
日本製鉄という現場

「クライアントゼロ」としてIT・OTの現場で妥協なくAIを鍛える

今後の展開

- 展開業種：製造業から金融、流通・サービス、公共へ
- 共同マーケティング：Anthropicと国内外で推進

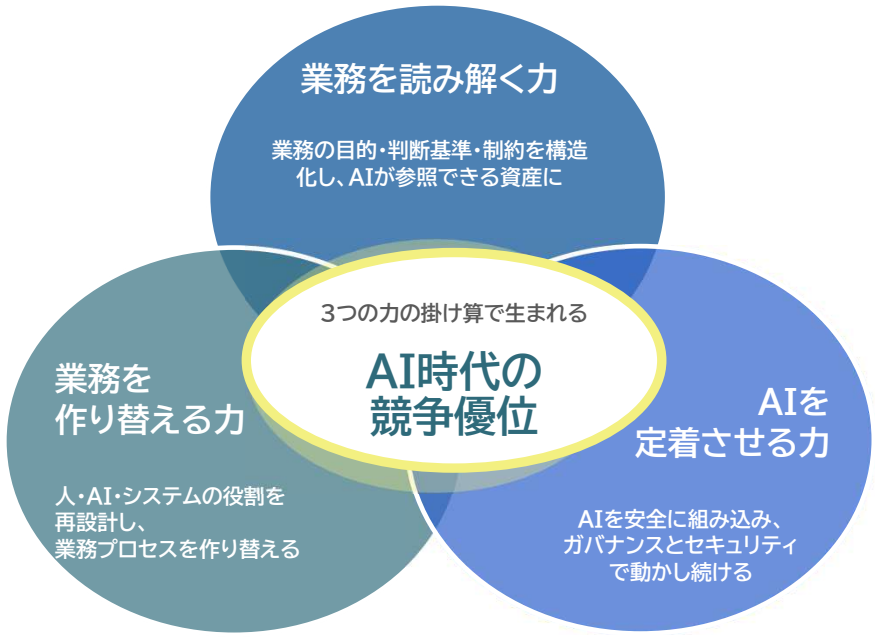
製造業から金融・流通・公共まで、AIを「事業を動かす当事者」へ

Copyright © 2026 NS Solutions Corporation. All Rights Reserved.

24. AI時代の変化を成長機会に ― NSSOLの強みと役割

AIは人月型SIにとって脅威。だが当社にとっては変革を加速する追い風となる。

AI時代の競争優位＝ 3つの力の三位一体



何をAIに委ね、何を人が判断・責任を持つか ― その境界を描けるのは「ヒト」だけ

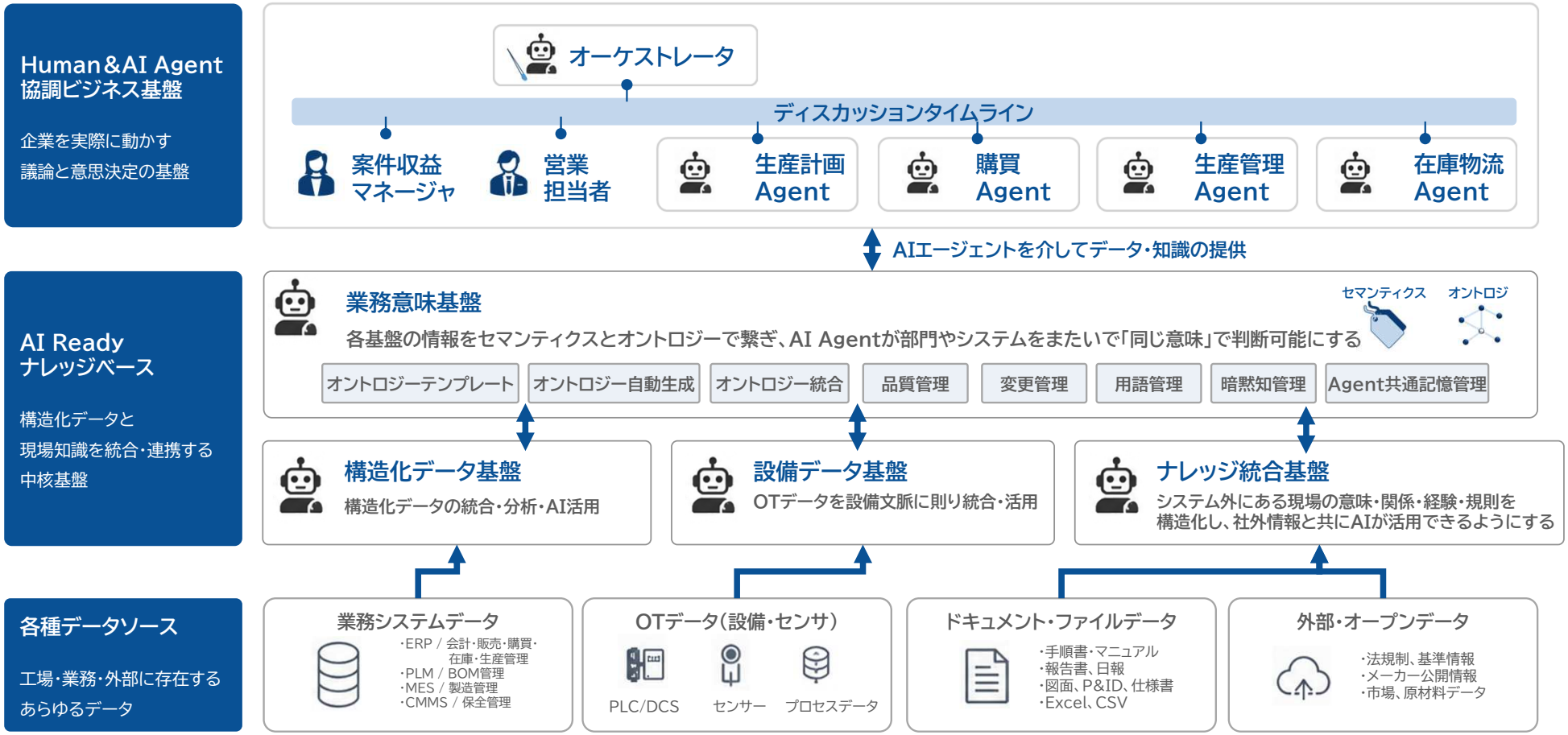


1. AIは人月・工数モデルを成り立たなくする。
   だが、汎用AIツールを入れるだけでは価値は出ない
2. 必要なのは AI Readyな基盤・ガードレール・業務への接続設計。
   ここにAI時代のSIerの役割がある。
3. 日本製鉄のミッションクリティカルな業務で培った業務知見は、
   AIが正しく判断するための「コンテキスト資産」

Copyright © 2026 NS Solutions Corporation. All Rights Reserved.

25. 人とAIが協調してビジネスを遂行するプラットフォーム

製造業のケース ― 現場知識を「同じ意味」でつなぎ、人とAIエージェントが協調して意思決定する統合基盤



Copyright © 2026 NS Solutions Corporation. All Rights Reserved.

26. 昨今のサイバー攻撃の多発とNSSOLが提供する対応サービス「NSSIRIUS」

侵入を前提に、専任セキュリティ・アカウント・マネジャー（SAM）が平時から伴走し、サイバー攻撃の影響を最小化

他社にない3つのサービス強み

01　専任SAMの伴走

CISSP等の資格を持つセキュリティ・アカウント・マネジャーがお客様専任で、平時の備えから有事の指揮支援まで一貫して担当

02　AI × 統合ログ

複数センサーのログを統合し、AIを含む相関分析で潜伏する攻撃の兆候をいち早く察知。実害が出る前に対応を実践

03　リテーナー契約

年間クレジットを事前購入いただき、有事に見積・発注・要員手配のタイムロスなく即時に着手。未使用分は平時の診断・教育に充当

なぜ、NSSOLか ― SIerとしての総合力

01　システム全体の把握力

SIerとして基幹システムを構築・運用してきた経験により、システム全体を俯瞰して対応。Anthropicとの戦略的パートナーシップなどAIの知見も蓄積

02　アプリケーション開発の知見

昨今のサイバー攻撃にはPHPの脆弱性対応などアプリケーション改修も必要。開発の知見を持つ人材が豊富で、対策を実装まで完結

03　クライアントゼロでの実践知

30年超のセキュリティ事業。当社を含むグループのセキュリティ支援・運用で培った実践知をサービスに還元

エヌエスシリウス

NSSIRIUS

NSSIRIUSとは

インシデントレスポンス・リテーナーサービス
（2025年11月提供開始）。

プロアクティブ（リスク評価・脆弱性診断・教育・脅威ハンティング）とリアクティブ（初動・分析・復旧支援・再発防止）の両面で、お客様のCSIRT業務を包括的に支援。

セキュリティ機器の販売やSOC監視にとどまらず、「有事に判断し、説明し、復旧できる体制」そのものを提供。

サイバー攻撃対応は「総合力」が求められる時代へ

NSSIRIUSとSIerとしての総合力で、お客様のサイバー攻撃対策をトータルで支援

Copyright © 2026 NS Solutions Corporation. All Rights Reserved.

Appendix

四半期別業績・売上構成・粗利率推移・一過性要因・主要ニュース

Copyright © 2026 NS Solutions Corporation. All Rights Reserved.

27. 四半期別連結業績

2Qは売上1,053億円・営業利益140億円、営業利益率13.3%と高水準

	FY2025				FY2026	
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
売上収益	827	957	970	1,059	937	1,053
売上総利益	210	251	270	287	248	291
売上総利益率	*25.4%*	*26.3%*	*27.8%*	*27.1%*	*26.5%*	***27.6%***
販売費及び一般管理費等	125	154	142	155	156	151
営業利益	85	98	127	133	92	140
営業利益率	*10.3%*	*10.2%*	*13.1%*	*12.5%*	*9.9%*	*13.3%*
税引前利益	88	100	130	135	95	142
親会社の所有者に帰属する当期利益	51	69	91	97	52	96

単位:億円

Copyright © 2026 NS Solutions Corporation. All Rights Reserved.

28. 四半期別サービス・顧客業種別 売上収益／営業利益

2Qは売上1,053億円(+10%)・営業利益140億円(+43%)、利益率13.3%

	売上収益						営業利益						営業利益率					
	FY2025				FY2026		FY2025				FY2026		FY2025				FY2026	
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
ビジネスソリューション	635	753	746	811	727	755	69	88	97	101	75	85	10.9%	11.7%	13.1%	12.5%	10.3%	11.3%
産業・鉄鋼	335	414	402	450	415	428	40	53	57	55	46	49	12.1%	12.7%	14.1%	12.2%	11.1%	11.4%
流通・プラットフォーマー	166	194	208	208	174	176	15	19	26	30	13	17	9.2%	9.8%	12.4%	14.6%	7.6%	9.6%
金融	134	144	136	153	137	151	13	16	15	16	16	20	10.1%	11.2%	10.8%	10.5%	11.5%	13.1%
コンサル&デジタルサービス	371	324	356	383	376	417	23	9	32	39	26	60	6.1%	2.9%	9.0%	10.2%	7.1%	14.4%
官公庁・教育機関向け	43	63	75	78	50	145												
ITインフラ・ソリューション等	328	261	281	305	326	272												
その他・調整額	-180	-120	-132	-134	-166	-119	-7	1	-2	-8	-9	-6	–	–	–	–	–	–
合計	827	957	970	1,059	937	1,053	85	98	127	133	92	140	10.3%	10.2%	13.1%	12.5%	9.9%	13.3%
(参考)日本製鉄向け	*178*	*176*	*173*	*178*	*166*	*161*												

※営業利益率＝営業利益÷売上収益。グループ会社分は各サービス・顧客業種に含めて表示(インフォコムはFY2025 2Qより連結)。官公庁・教育機関向け／ITインフラ・ソリューション等はデータ未入手のため空欄

単位:億円

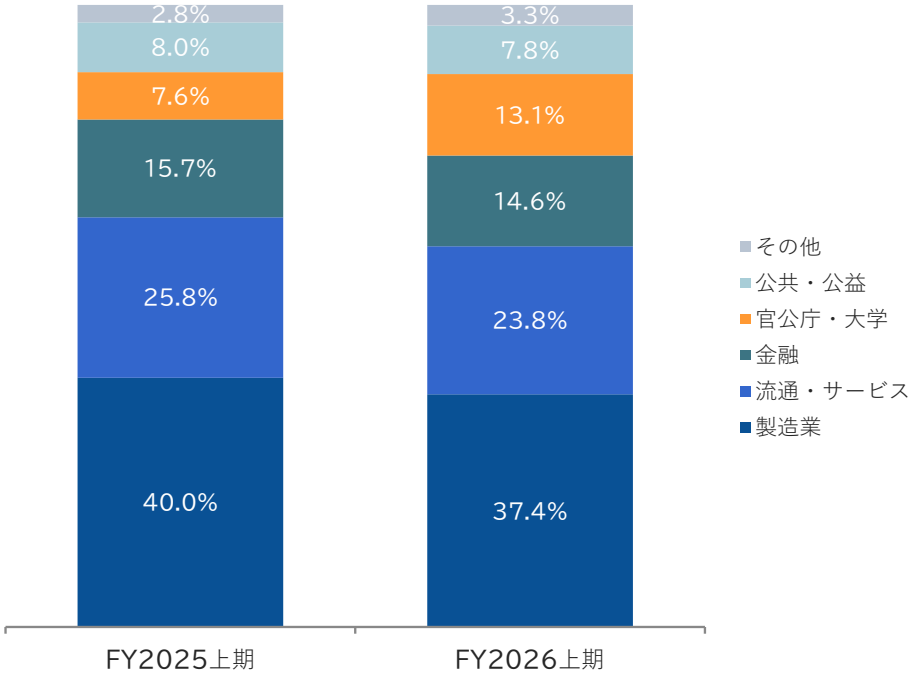
Copyright © 2026 NS Solutions Corporation. All Rights Reserved.

29. 売上収益の構成（単独）

上期は官公庁・大学が13.1%へ上昇、機器も11.2%へ ― 製造業は37.4%

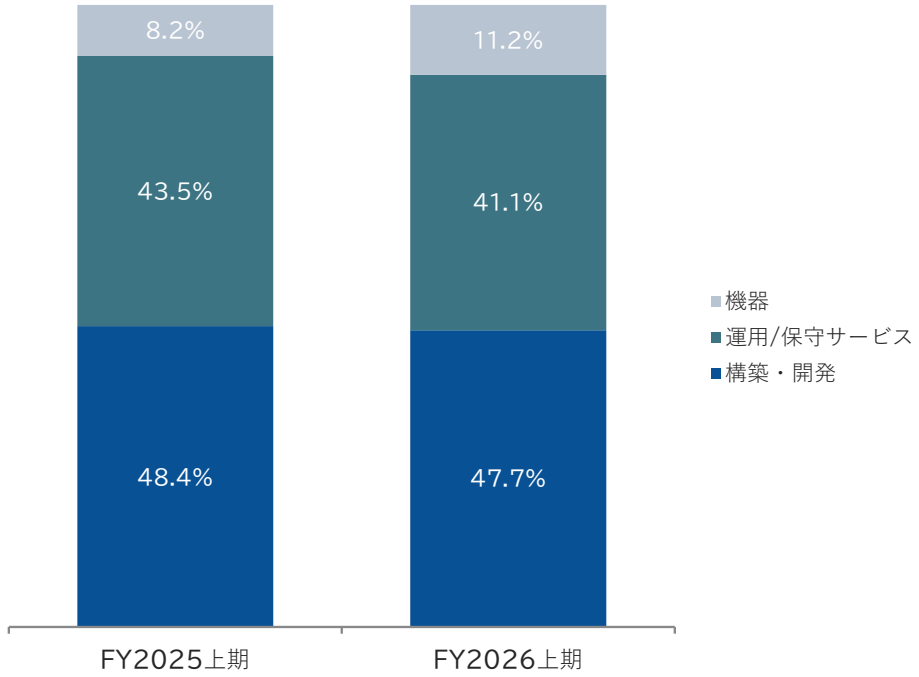
需要分野別売上収益構成

単独計（社外売）FY2025上期 1,457億円 / FY2026上期 1,546億円
（製造業のうち日本製鉄 23.4% / 20.3%）



商品・サービス別売上収益構成

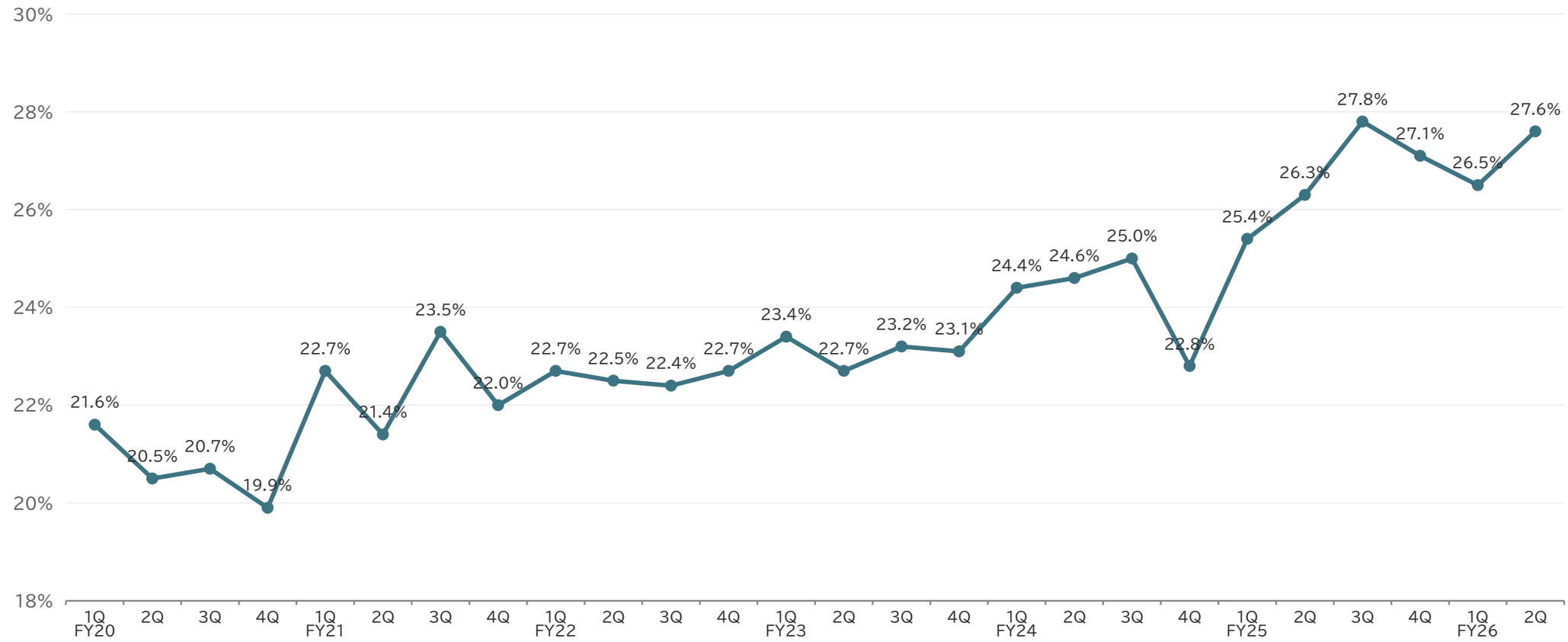
単独計（社外売）FY2025上期 1,457億円 / FY2026上期 1,546億円



Copyright © 2026 NS Solutions Corporation. All Rights Reserved.

30. 売上高総利益率の推移（四半期）

粗利率は中長期的に上昇トレンド、FY26上期は27.1%と前年同期から1.2pt改善、2Qは27.6%



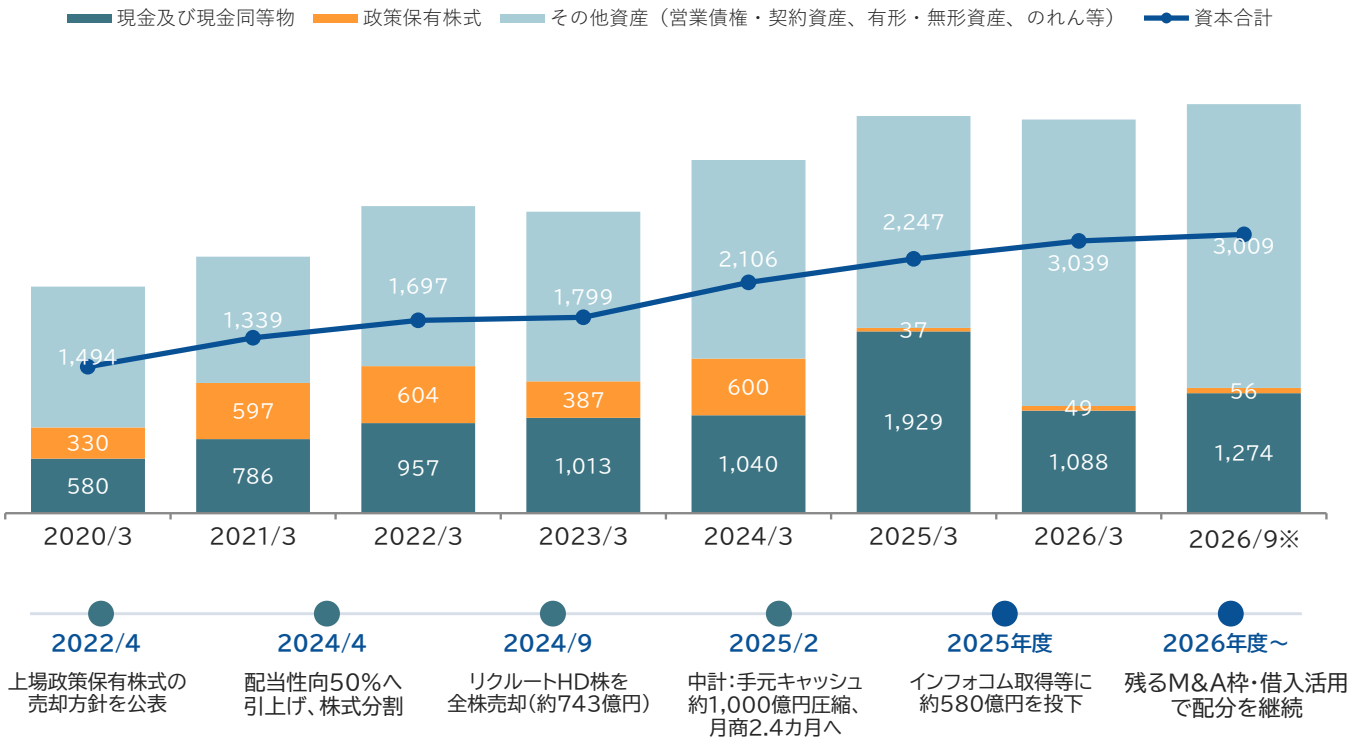
FY2020は日本基準

Copyright © 2026 NS Solutions Corporation. All Rights Reserved.

31. バランスシートの推移（2020/3末～2026/9末）

政策保有株式の売却資金を、成長投資・M&Aと株主還元へ

総資産の構成と資本合計の推移（億円） ※資本合計の数値は右表参照



2022/4 上場政策保有株式の売却方針を公表

2024/4 配当性向50%へ引上げ、株式分割

2024/9 リクルートHD株を全株売却（約743億円）

2025/2 中計：手元キャッシュ約1,000億円圧縮、月商2.4カ月へ

2025年度 インフォコム取得等に約580億円を投下

2026年度～ 残るM&A枠・借入活用で配分を継続

※政策保有株式（上場・非上場の合計）の保有額・純資産比率は有価証券報告書に基づく単体ベース（2026/9末は連結BS注記より）

BSの質の変化

	2020/3	2025/3	2026/3	中計目標
政策保有株式／純資産（単体）	26%	1.6%	2.1%	具体的提携が無いものは保有せず
手元流動性（月商換算）	2.5カ月	6.8カ月	3.4カ月	2.4カ月
資本合計（億円）	1,554	2,698	2,888	利益蓄積で増加

財務マネジメントの方針

健全なBSの維持
信用力と投資余力を確保

大型投資は借入も活用
手元資金に借入も組み合わせ、資本効率を向上

株主還元は配当性向50%を維持
利益成長に連動した増配。ROEは資本コスト超を維持

単位：億円

Copyright © 2026 NS Solutions Corporation. All Rights Reserved.

32. 四半期別主要一過性要因・大型案件等

四半期比較の際に考慮すべき一過性要因と大型案件の一覧（FY2025 1Q～FY2026 2Q）

	FY2025				FY2026	
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
売上収益	**827**	**957**	**970**	**1,059**	**937**	**1,053**
大型案件		*Ⓢ 新規連結 70*	*Ⓢ 新規連結 68*	*Ⓢ 新規連結 88*	*Ⓢ 新規連結 64*	*G 94 （+1Q 17=上期 111）*
営業利益	**85**	**98**	**127**	**133**	**92**	**140**
一過性		*取得費用 -7*				
受注高	**752**	**1,112**	**1,085**	**1,124**	**1,072**	**1,056**
大型案件		*Ⓢ 新規連結 248*	*© G 268 Ⓢ 新規連結 38*	*Ⓢ 新規連結 118*	*Ⓑ O 152 Ⓢ 新規連結 75*	*G 65 G 64*

Ⓑ：ビジネスソリューション、©：コンサルティング＆デジタルサービス、Ⓢ：子会社、O：Oracle、G：官公庁向け

単位：億円

Copyright © 2026 NS Solutions Corporation. All Rights Reserved.

33. 主要ニュース・プレスリリース

2026年5月～10月：AI・金融DX・業界特化型PFを中心に30件を発表

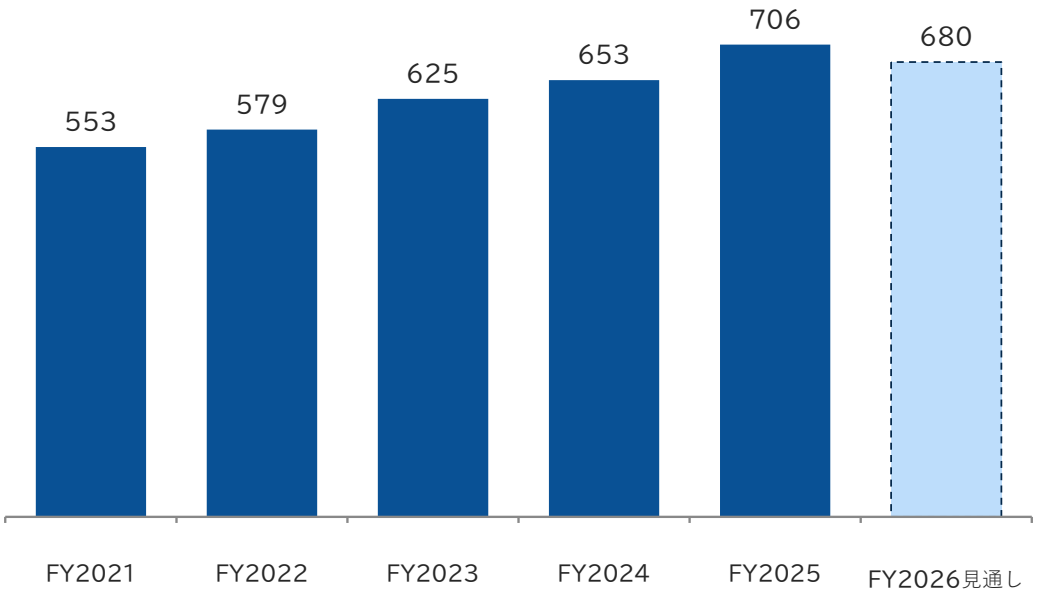
2026/10/29	R&Iから発行体格付「A（安定的）」を新規取得
2026/10/29	Helpfeelと、AI時代のCX変革に向けた戦略的アライアンスで基本合意
2026/10/22	群馬銀行と第四北越銀行、「BM4Iサービスプラットフォーム」を共通採用
2026/10/21	三島信用金庫、信用金庫として初めて金融機関向け電子契約サービス「FINCHUB」を採用
2026/10/15	ロックウェル オートメーションのクラウド型MES「PLEX」の販売を開始
2026/10/13	日本デジタル分散型金融協会（JDFA）への参画を通じ、デジタル分散型金融市場の発展を目指す
2026/10/1	BoxとDatabricksの連携により、企業データを横断的に活用するAIソリューションを提供開始
2026/10/1	「統合報告書2026」を発行
2026/9/28	NSSOL、Anthropicと戦略的パートナーシップ契約を締結
2026/9/28	「Appian INNOVATION AWARD」を受賞
2026/9/24	顧客ID管理プラットフォーム「Auth0」を活用したID基盤ソリューションの提供を開始
2026/9/17	横浜FG向け「BM4Iサービスプラットフォーム」導入プロジェクトを開始
2026/9/10	「HULFT Square」と「CONTRACT CROSS」の連携を開始し、電子契約業務の効率化とデジタル化の支援を強化
2026/8/25	CX・コンタクトセンター高度化支援サービス「NSRelato」の提供を開始
2026/8/18	最適化モデルのライフサイクル管理プラットフォーム「wisepot」を提供開始
2026/8/10	千葉銀行の新営業支援システムを構築
2026/8/7	埼玉大学、教務事務システムを「CampusSquare」に刷新し、クラウド基盤にOCIを採用
2026/8/6	バイブコーディングプラットフォーム「Alli Coworker」の販売を開始
2026/7/9	デジタルアセット次世代執行基盤の共同検証を開始
2026/7/9	日鉄ソリューションズと電通総研、次世代ITインフラ領域で協業へ
2026/7/2	暗号資産インデックス「NADA」、テスト算出開始と利用企業募集を開始
2026/7/1	「NS DevCompass」にAI駆動開発を導入
2026/6/30	「DID/VC共創コンソーシアム AIエージェント×金融取引分科会」の発足について
2026/6/30	国内暗号資産ETFの実現へ、暗号資産インデックス協議会の報告書を公表
2026/6/25	業界特化型ECプラットフォーム「NS Eclipa」の提供を開始
2026/5/29	株式会社B-Prostのグループ会社化について
2026/5/25	ソニー生命向けに投資運用管理プラットフォーム「SimCorp One」の導入を支援
2026/5/13	TeciemとAPAC地域における市場系ソリューションの販売強化に向けた戦略的パートナーシップを締結
2026/5/12	統合ナレッジ基盤「データシンクロニシティプラットフォーム」と「Geminant」を連携したデータ活用環境の展開を本格化
2026/5/7	松本市と「上高地の管理運営体制構築の研究に関する連携協定」を締結

Copyright © 2026 NS Solutions Corporation. All Rights Reserved.

34. 日本製鉄グループとのシナジーと日本製鉄向け売上の推移

安定した基盤売上を起点に、All NSSOLのオファリングとAI成果をグループ全体へ

日本製鉄向け売上収益の推移（億円）



中期成長ストーリーを通したシナジー

- 日鉄グループのDXに、All NSSOLの全社オファリングで能動的に提案
- 日鉄テックスエンジと協業し、IT・OT領域のDXソリューションを創出
- 製鉄所で鍛えた技術をアセット化し、外部顧客・海外へ展開

親子上場メリットの活用と経営の独立性

- 700億円程度/年の安定販売先、先進IT/OTソリューションの実践フィールド
- 日本製鉄以外の売上収益が約80%、IT業界に精通した経営陣による独立した経営
- 親会社との重要な取引は独立社外取締役のみで構成される親会社取引等審議委員会で審議し、利益相反を防止

単位：億円

Copyright © 2026 NS Solutions Corporation. All Rights Reserved.

35. TAM型（A型・M型）の主なプロダクト・サービス例

事業分野ごとに業務知見をアセット化・プラットフォーム化し、複数顧客へ横展開

事業分野	A型・M型の主なプロダクト・サービス（太字：プロダクト名）
共通領域	**BPMS**（ビジネスプロセスマネジメント） / **高度文書管理ソリューション**（Box） / **Geminant**（デジタルツインPF） / **NS Devia**（AI駆動開発） / **CONTRACT CROSS**（電子契約） / **ConSeek**（統合経営管理PF） / **Oracle Alloy**（クラウドサービス） / **NSSIRIUS**（サイバーセキュリティ） / **emerald SaaS**（次世代運用サービス）
産業	**PPPlan**（食品業向けSCM） / **PPCV**（画像AIソリューション） / **NSLOGIX**（物流企業間データ連携PF） / **Hakobini**（配送協働PF）
鉄鋼	**PPMP**（生産管理パッケージ）— 素材産業向けプラットフォームとして展開
流通	**fitAI**（小売店舗AI支援） / **COCOTRA**（インバウンド旅行） / **NS Eclipa**（業界特化型ECプラットフォーム）
金融	**BM4I**（IFRS金融商品会計サービス） / **Enesage**（エネルギー取引管理サービス） / **Web3金融データ提供プラットフォーム** / **VIGILO MRM**（モデル・リスク管理）
コンサル＆デジタル	**absonne**（マネージド・クラウド） / **NS DevCompass**（AI駆動開発） / **統合ナレッジ基盤**（データシンクロニシティPF） / **OptiMagic**（最適化業務支援）

目標粗利率（中計） T型 27%→30%　A型 30%→40%　M型 20%→30%（2027→2030年度）／ Nestorium上で約35サービスが稼働

Copyright © 2026 NS Solutions Corporation. All Rights Reserved.

36. 技術基盤と社内業務・マネジメント変革の進捗

各フェーズに最適なAIツールで開発生産性2倍へ ― 管理部門の生産性向上で販管費を抑制

③ 技術獲得・適用プロセスの変革 ― 標準プラットフォーム

基本構想	要件定義	設計	開発	テスト	移行	運用保守

NSDevia	開発AIエージェント(Jitera・Autify)、AI要件ビルドツール、コーディングエージェント
Curatis	テスト自動化
NSSOLAS	汎用セキュア生成AIサービス(レビュー、脆弱性検査、PJ管理支援)
Nestorium	全社標準ITサービスPF:セキュリティ・クラウド連携・SBOM管理。約35サービスが稼働

④ 社内業務・マネジメントの変革

管理部門 売上高生産性(売上高／期末管理部門人員)

Base → +15% → +30%

2024年度 基準　2025年度 実績　2026年度 目標

- 2025年4月、管理系組織を全社部門に集約し業務を標準化
- OA管理の全社集約・サービス化(NSSOLVIT)
- 法務・販売・購買・財務・人事にAIを適用、AIアクティブユーザー率76%
- Fit to Standard:FieldGlass本番化(2025/7)、SAP S/4HANA(2028/4予定)
- 売上拡大下でも管理部門人員を効率化し、販管費を抑制

生成AI活用の現状

従来型開発 → AI支援開発 → AI駆動開発へ移行し、

開発生産性2倍を当たり前に

開発案件の50%超で活用

効率化率:新規開発で最大45%～最小10%

要件定義 +36%・製作工程 +45%の事例



従来型開発
人が全工程を手作業(人月が対価)

AI支援開発
AIが補助・人が主導(活用率50%超)

AI駆動開発
AIエージェントが主導・人は判断・レビュー

出所:統合報告書2026 P.11(4つの抜本的変革③④の進捗)、2025年度決算説明会資料

Copyright © 2026 NS Solutions Corporation. All Rights Reserved.

37. サステナビリティ経営 — マテリアリティ・KPIと外部評価

TAM型モデルはサステナビリティ経営の実践 — 5つのマテリアリティをKPIで管理

マテリアリティ	主なKPI	2025年度実績	目標	関連するSDGs
① ITを通じた社会課題の解決	T型／A型／M型 売上高	T 680億円(達成)／A 570億円(達成)／M 35億円(未達)	FY26：T 1,210／A 870／M 30億円	
② 社会インフラとしてのITサービス安定供給	ITサービス案件の重大障害発生件数	0件(達成)	0件	
③ 多様な人材が活躍できる場の創出	エンゲージメント／女性管理職比率／男性育休取得率	57%(前年比向上)／8.2%／110%	前年度比向上／2030年度 10%以上／90%以上継続	
④ 環境負荷低減	GHG排出量 Scope1+2／Scope3原単位	14,526 t-CO_2 (2015年比▲64%)／83 t-CO_2/億円	2030年度 半減、2050年度 カーボンニュートラル／74(2030年)	
⑤ 信頼される社会の一員としてのガバナンス／コンプライアンス追求	取締役会の実効性評価／コンプライアンスe-learning受講率	実効性確保(第三者評価含む)／100%	継続／100%	

人的資本

- 従業員数 10,276名(2026/3・連結)
- ビジネスアーキテクト職を新設、スキルポートフォリオを年1回計測
- ビジョン浸透・共感 63.3%、成長意欲 66%

ガバナンス

- 取締役11名中 独立社外6名・女性2名
- 役員報酬にROE連動の譲渡制限付株式とマテリアリティ評価
- 上場政策保有株式は原則保有せず(純資産比1%未満)

外部評価

- 人的資本経営品質(シルバー)初受賞
- ホワイト500 初認定、プラチナくるみんプラス、えるぼし、PRIDE指標ゴールド
- FTSE4Good／FTSE Blossom Japan 構成銘柄

SDGsアイコン：国連広報センター(UNIC)提供の日本語版アイコンを国連の使用ガイドラインに基づき使用。マテリアリティとの対応は当社サステナビリティ開示に基づく整理

出所：統合報告書2026 P.27-31(マテリアリティとKPI)、P.32-44(人的資本)、P.47-53(ガバナンス)、P.77-78(非財務情報)

Copyright © 2026 NS Solutions Corporation. All Rights Reserved.

38. 情報セキュリティマネジメント

部門別管理から「全社統制・全社管理」へ ― セキュリティをAI時代の経営基盤に

ガバナンス・体制

- 情報セキュリティ委員会（経営会議相当）が方針を決定、取締役会へ年次報告
- 全社直轄の情報セキュリティ本部が統括、SIRT部が監視・対応
- PDCAとOODAを連携、内部統制・監査部が監査

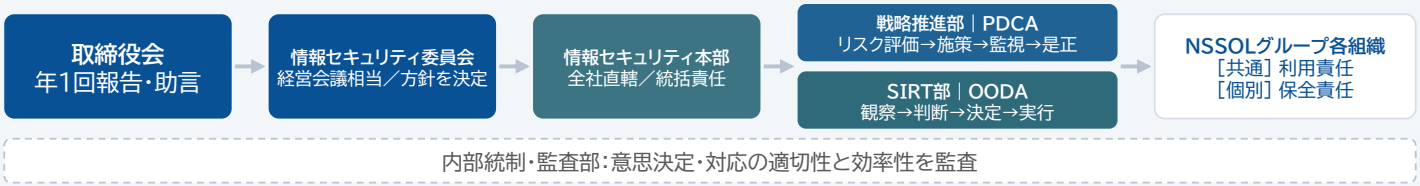
規程・訓練・インシデント対応

- NIST CSF 2.0を主軸に、ISO/IEC 27001を参照
- 全社員・委託先への年次教育、標的型メール訓練、経営層参加の対応訓練
- 社長を本部長とする対策本部と5つの行動原則

AI時代の新たなリスクと提供価値

- 「セキュリティファースト」が各業界の標準に
- Security for AI／AI for Security ― AI時代のガバナンス構築を支援
- クライアントゼロの実践知をサービス化（NSSIRIUS等）

全社統制・全社管理の体制 ― 経営のガバナンス（PDCA）と日々の対応（OODA）を連携



守る3つの対象 × 参照フレームワーク



情報セキュリティは「守りのコスト」ではなく、事業継続と顧客信頼の前提 ― 最も信頼されるSIerへ

出所：統合報告書2026 P.4（社長メッセージ）、P.49（ガバナンス強化のポイント）、P.55–60（対談4・情報セキュリティ）

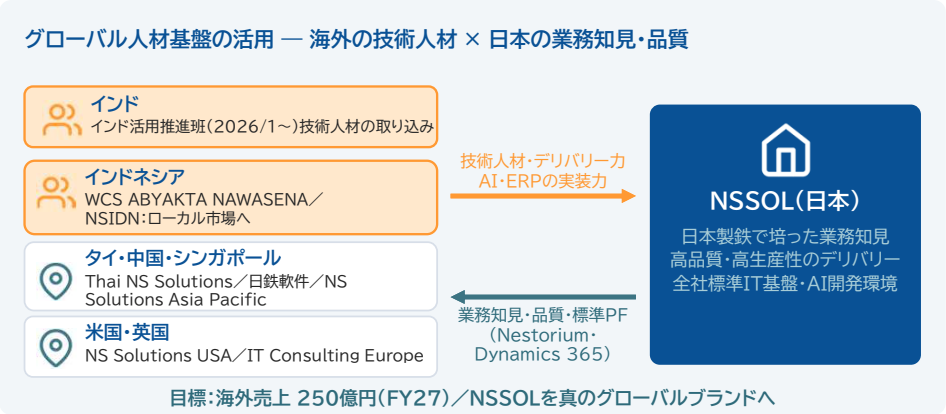
Copyright © 2026 NS Solutions Corporation. All Rights Reserved.

39. グローバル戦略・外部成長戦略の進捗

海外売上は150億円超、インドネシアのローカル市場に参入 — M&Aは規律をもって実行

グローバル戦略：海外売上 120億円 → 150億円超 → 250億円（FY27目標）

- 製造・鉄鋼・流通向けERPソリューションが堅調、Dynamics 365を中国・タイ・インドネシアで展開
- WCS ABYAKTA NAWASENA（インドネシア）を子会社化し、ローカル市場へ参入
- インド活用推進班（2026/1）を設置、技術人材の活用を本格化
- M&A・提携で技術とデリバリーネットワークを獲得
- 海外売上構成：パッケージ47%・スクラッチ28%・インフラ25%



外部成長戦略：3カ年1,500億円で売上470億円・営業利益70億円程度の効果

- インフォコム：100日PMIで統合、今年度からシナジー本格化。GRANDITをAI化
- 各事業部門と外部成長推進WGを設置し、ミッシングパーツ獲得を推進
- 資本コスト超のリターンを基準に、買収後も継続モニタリング

時期	投資先	類型	目的
2025.08	インテリジェントフォース	出資	オファリング力・上流コンサルティング力の強化
2025.09	デリバリーコンサルティング	出資	データ利活用領域でのコンサルティング力・実装力の強化
2025.11	N.Avenue	出資	暗号資産関連分野における事業共創
2026.03	cBioinformatics	出資	がんゲノム医療分野における事業共創
2026.05	B-Prost	子会社化	損害保険会社向け基幹システム事業の強化

出所：統合報告書2026 P.12（グローバル戦略・外部成長戦略の進捗）、P.7（社長メッセージ）、P.74（海外グループ会社）

Copyright © 2026 NS Solutions Corporation. All Rights Reserved.

40. 価値創造プロセス ― 社会価値・顧客価値・経済価値の循環

社会価値を生み、経済価値を人材・技術・事業へ再投資する循環が成長ストーリー

パーパス ともに未来を考え 社会の新たな可能性を テクノロジーと情熱で切り拓く　NSSOL 2030ビジョン Social Value Producer with Digital

マテリアリティ　1 ITを通じた社会課題の解決　2 社会インフラとしてのITサービス安定供給　3 多様な人材が活躍できる場の創出　4 環境負荷低減　5 信頼される社会の一員としてのガバナンス／コンプライアンス追求

外部環境

社会・経済の変化・技術革新

ITメガトレンド

- 生成AI等新技術による システム開発・運用の変化
- 企業による デジタルビジネスの拡大
- 業界横断 プラットフォームの本格化

インプット

- 人的資本
- 知的資本
- 技術資本
- 社会関係資本
- 財務資本
- 自然資本

ビジネスモデル

NSSOL 2030ビジョン　**Social Value Producer with Digital**

2025-2027 中期経営計画 4つの抜本的変革

① 事業収益モデルの変革
② 顧客アプローチの変革
③ 技術獲得・適用プロセスの変革
④ 社内業務・マネジメントの変革

T型 次世代SI　A型 アセット活用　M型 PF提供

COREPEAK©

変革シナリオ × オファリングBlock

SIerとして培った強み
業務知見 × 技術知見

AI時代の強み「業務設計力」
業務を読み解く × 業務を作り替える × AIを業務に定着させる

アウトカム

社会価値

社会の新たな可能性の実現
資源効率の高度化

顧客価値

お客様の可能性を見つけ カタチにする

経済価値（2030ビジョン）

売上 5,000億円／営業利益 1,000億円
営業利益率 20%／ROE 15%程度

NSSOL付加価値の蓄積（FY25 1,546億円）

経済価値を 人材・技術・事業 へ再投資 ― さらに大きな社会価値を創出する循環

出所：統合報告書2026 P.23-24（価値創造プロセス）、P.6-7（社長メッセージ「サステナビリティ経営の実践としてのTAM型ビジネスモデル」）

Copyright © 2026 NS Solutions Corporation. All Rights Reserved.

41. NSSOL2030ビジョン実現に向けた成長投資の推進

「利益成長」と「次の成長基盤づくり」を並行 ― 投資→実装→収益化を段階管理

	2025–2027 投資・基盤構築	2027–2030 実装・事業化	2030年代早期 収益化・回収
 **M&A** 3カ年1,500億円｜インフォコム等	**取得・PMI** 事業・能力を獲得 投資実行額／PMI	**シナジー拡大** 利益貢献／案件化	**投資回収** IRR／ROIC
 **成長投資** 売上収益比 5%程度｜AI・IT基盤	**技術・基盤整備** AI・社内IT・実証	**商品化・顧客展開** 商用化／受注／再利用	**収益モデル転換** 売上／粗利／生産性
 **人的資本投資** 社会価値創造型人材へのシフト	**採用・育成・処遇** 能力・供給力を形成 人材確保／スキル獲得	**配置転換・高付加価値化** 高度人材比率／稼働	**持続的成長力** 一人当たり付加価値
	投資 ｜ INPUT	実装 ｜ LEADING KPI	収益化 ｜ FINANCIAL OUTCOME

出所：2025–2027中期経営計画、統合報告書2026 P.9–12・P.19–22。

Copyright © 2026 NS Solutions Corporation. All Rights Reserved.

42. NSSOLの生成AI関連実績 — 1Q開示からの進捗

社内実践は「使う」から「成果を広げる」へ — 時間創出は約1.9倍、AIエージェント活用が本格化、Anthropic提携で加速

社内実践

時間創出効果（全社・月）

123,900時間 → **235,236時間**

774人月 → 1,470人月相当

ほぼ毎日利用する社員

48% → **64.5%**

週2〜3日以上は 73% → 84%

AIエージェント

2,107名（32%）が業務で利用

- 2026年8月全社サーベイ：回答6,624名（87%）
- NSSOLAS Dify 拡張・Copilot Studio 本番展開、全社学習支援

SI案件・開発プロセス

生成AI活用率

50%超 を維持し、AI駆動開発へ

開発業務での利用ツール

Claude／Claude Code の利用が大幅増

M365 Copilot・NSSOLAS に次ぐ利用規模。
9月にAnthropicと戦略的パートナーシップ

生産性向上の事例

要件定義 +36%・製作 +45%

- AI駆動開発基盤 NSDevia を全社展開（設計・テスト文書作成支援）
- 「開発生産性2倍を当たり前に」へ標準プロセスに組込み

最近のプレスリリース・事例

2026/9 Anthropicと戦略的パートナーシップ契約

国内ユーザー系SIerで初。製鉄の現場をClient Zeroに
AIエージェント協働基盤・レガシー刷新を推進

2026/8 バイブコーディングPF Alli Coworker 販売開始

AI駆動開発をお客様の内製化支援へ展開

2026/6 AIエージェント×金融取引分科会を発足

DID/VC共創コンソーシアム。AIエージェントによる
金融取引の将来像を共同研究

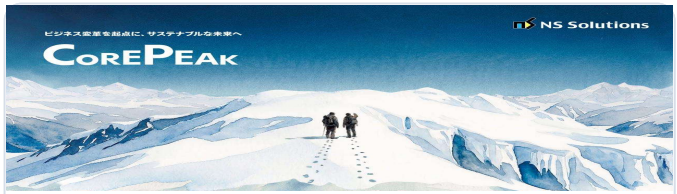
自社実践 × SI実装力 × 顧客業務変革を一体で支援 — 社内で鍛えたAI活用の実践知を、お客様の業務変革と当社の生産性（T型）へ還流

出所：NSSOL AI SURVEY 2026（2026年8月、回答6,624名）、時間創出効果は選択肢の細分化等により前回と算出条件が異なる

Copyright © 2026 NS Solutions Corporation. All Rights Reserved.

43. 変革施策の進捗：COREPEAK・AI駆動開発・社内業務変革

オファリング・AI・業務の3つの変革で、営業利益600億円達成の確度を高める



オファリングブランド

100億円規模

2026年度の新規ビジネス創出目標

- 2026年4月に展開開始
- 「変革シナリオ」×「オファリングBlock」で構想から実装まで一気通貫
- 今年度100億円規模の新規ビジネス創出へ

AI駆動開発

技術獲得・適用プロセスの変革

+20%

2027年度の開発生産性向上目標

- AI駆動開発による生産性向上を実証済み
- Anthropicとの提携と連動し適用を拡大
- 小規模案件への適用を加速し、FY27に+20%へ

社内業務変革

社内業務・マネジメントの変革

+30%

2026年度 管理部門の売上高生産性目標

- 管理部門を集約・標準化
- 管理システム刷新で業務を再設計
- 2025年度の販管費増（+144億円）はインフォコム子会社化（+99億円）と中計施策の前倒し実行が主因

出所：当社 2025年度決算説明資料（2026年4月）、COREPEAK展開開始に関するプレスリリース（2026年4月8日）

Copyright © 2026 NS Solutions Corporation. All Rights Reserved.

NS Solutions

ビジネス変革を起点に、サステナブルな未来へ

CorePeak



本資料は、金融商品取引法上のディスクロージャー資料でなく、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。また、本資料に記載された将来の予測等は、開示の時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、不確定要素を含んでおります。従いまして、本資料のみに依拠して投資判断されますことはお控えくださいますようお願い致します。本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。本資料中には当社および他社製品の登録商標されたサービス名・商品名等を含みます。

Copyright © 2026 NS Solutions Corporation. All Rights Reserved.

NS Solutions

2027年３月期 第2四半期(中間期)決算　参考資料

Appendix of Financial Results for the Quarterly Period ended September 30, 2026

2026年11月2日
November 2, 2026

日鉄ソリューションズ株式会社

NS Solutions Corporation

本資料には当社又は当社役員の当社の営業成績及び財政状態に関する意図、意見又は現時点の予想と関連する将来予想が記載されております。従って、この将来予想は、歴史的事実でも将来の業績を保証するものでもないため、リスクと不確定な要素を含んでおります。実際の業績は様々な要因により異なる可能性があります。当社は、この将来予想を、これらの変化要因を反映するために修正することを保証するものではありません。

財務諸表の開示について
当社連結財務諸表について、国際財務報告基準を任意適用しており、決算日時点で有効な国際財務報告基準に従って作成しております。

この資料では百万円単位で切捨て表示をしております。

This document includes statements of forward-looking descriptions regarding the intent, belief or current expectations of NS Solutions Corporation (the “Company”) or its officers in terms of its operation and financial condition. Accordingly, such statements contain risks and uncertainties since they are neither historical facts nor guarantees of future performance. Actual results may be varied and influenced by various factors. The Company does not undertake to revise such forward-looking descriptions to reflect those factors.

Basis of Presenting Financial Statements
The Company has voluntarily adopted International Financial Reporting Standards (“IFRS”) for its consolidated financial statements.

In this material, figures have been rounded down to the nearest millions of yen.

1.連結四半期業績概要 Outline of Quarterly Consolidated Business Results

（単位：百万円 Millions of Yen）

国際財務報告基準(IFRS)	2026/3					2027/3					対前年同期差異				
	Q1	Q2	Q3	Q4	Total	Q1	Q2	Q3	Q4	Total	Q1	Q2	Q3	Q4	Total
受注高 Amount of order acceptance	75,195	111,237	108,511	112,350	407,295	107,154	105,633			212,788	+31,959	−5,604			
ビジネスソリューション Business Solutions	57,396	93,951	63,707	88,688	303,744	85,779	72,377			158,157	+28,383	−21,574			
コンサルティング＆デジタルサービス Consulting & Digital Service	17,799	17,286	44,803	23,662	103,551	21,374	33,255			54,630	+3,575	+15,969			
期末受注残高 Order backlog at end of period	165,519	181,066	192,557	198,963	198,963	212,457	212,773			212,773	+46,938	+31,706			
ビジネスソリューション Business Solutions	91,596	112,367	103,305	113,329	113,329	128,550	128,082			128,082	+36,954	+15,714			
コンサルティング＆デジタルサービス Consulting & Digital Service	73,923	68,698	89,252	85,634	85,634	83,907	84,691			84,691	+9,984	+15,992			
売上収益 Revenue	82,684	95,690	97,019	105,944	381,340	93,660	105,317			198,978	+10,976	+9,626			
ビジネスソリューション Business Solutions	61,892	73,180	72,769	78,664	286,506	70,558	72,845			143,404	+8,666	−334			
コンサルティング＆デジタルサービス Consulting & Digital Service	20,792	22,510	24,249	27,280	94,833	23,102	32,471			55,574	+2,309	+9,961			
売上総利益 Gross profit	20,987	25,145	26,957	28,711	101,802	24,779	29,094			53,873	+3,791	+3,949			
販売費及び一般管理費 Selling, general and administrative expenses	12,471	15,570	14,225	15,788	58,057	15,550	15,268			30,819	+3,078	−301			
その他収益及び費用 Other income and other expenses	−30	212	−13	328	497	0	154			154	+30	−57			
営業利益 Operating profit	8,485	9,787	12,718	13,251	44,242	9,228	13,980			23,209	+743	+4,193			
親会社の所有者に帰属する当期利益 Profit attributable to owners of parent	5,111	6,896	9,111	9,712	30,832	5,207	9,649			14,857	+96	+2,753			
包括利益 Comprehensive income	5,121	7,187	9,794	11,461	33,565	5,719	10,070			15,790	+598	+2,882			
売上総利益率(%) Ratio of gross profit to revenue (%)	25.4%	26.3%	27.8%	27.1%	26.7%	26.5%	27.6%			27.1%	+1.1%	+1.3%			
営業利益率(%) Ratio of operating profit to revenue (%)	10.3%	10.2%	13.1%	12.5%	11.6%	9.9%	13.3%			11.7%	−0.4%	+3.0%			
日本製鉄㈱向け販売高 Sales to Nippon Steel Corp.	17,829	17,565	17,321	17,839	70,555	16,552	16,138			32,690	−1,277	−1,427			

2.連結上期業績概要 First Half Outline of Consolidated Business Results

（単位：百万円 Millions of Yen）

国際財務報告基準(IFRS)	2024/9※1 実績 Actual	2025/9 実績 Actual(A)	(参考)2026/9 2026/7/30 前回見通し Previous Outlook(B)	2026/9 実績 Actual(C)	対前年同期差異 (C)-(A)	対見通し差異 (C)-(B)
受注高 Amount of order acceptance	173,656	186,433	—	212,788	+26,354	—
ビジネスソリューション Business Solutions	121,196	151,348	—	158,157	+6,809	—
コンサルティング＆デジタルサービス Consulting & Digital Service	52,460	35,085	—	54,630	+19,545	—
期末受注残高 Order backlog at end of period	172,582	181,066	—	212,773	+31,706	—
ビジネスソリューション Business Solutions	92,901	112,367	—	128,082	+15,714	—
コンサルティング＆デジタルサービス Consulting & Digital Service	79,680	68,698	—	84,691	+15,992	—
売上収益 Revenue	156,612	178,375	200,000	198,978	+20,603	−1,021
ビジネスソリューション Business Solutions	116,554	135,072	—	143,404	+8,332	—
コンサルティング＆デジタルサービス Consulting & Digital Service	40,058	43,302	—	55,574	+12,271	—
売上総利益 Gross profit	38,371	46,132	54,500	53,873	+7,740	−626
販売費及び一般管理費 Selling, general and administrative expenses	20,289	28,042	33,000	30,819	+2,776	−2,180
その他収益及び費用 Other income and other expenses	43	182	—	154	−27	+154
営業利益 Operating profit	18,125	18,272	21,500	23,209	+4,937	+1,709
親会社の所有者に帰属する当期利益 Profit attributable to owners of parent	12,186	12,007	13,300	14,857	+2,849	+1,557
包括利益 Comprehensive income	26,873	12,309	—	15,790	+3,480	—
売上総利益率(%) Ratio of gross profit to revenue (%)	24.5%	25.9%	27.3%	27.1%	+1.2%	−0.2%
営業利益率(%) Ratio of operating profit to revenue (%)	11.6%	10.2%	10.8%	11.7%	+1.4%	+0.9%
日本製鉄㈱向け販売高 Sales to Nippon Steel Corp.	30,532	35,394	—	32,690	−2,704	—
基本的1株当たり当期利益(円)※2 Basic earnings per share (yen)	66.60	65.62	72.68	81.19	+15.57	+8.51
資本 Equity	260,796	274,940	—	295,659	+20,719	—
総資産 Total assets	400,012	405,320	—	433,850	+28,529	—

※1 2025年4月より一部の分野につき、ビジネスソリューション（流通・PF）からコンサルティング&デジタルサービスへの組替えを実施しており、2024年度実績は組替え後の数値となっております。
Some areas have been reclassified from “Business Solutions”(Retail and Service, Digital Platformer) to “Consulting & Digital Service”, and 2024/9 results are presented with figures after reclassification.

※2 当社は、2024年7月1日付けで普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。2024年度の期首に当該分割が行われたと仮定して、基本的1株当たり当期利益を算定しております。
The Company carried out a 2-for-1 stock split of common stock as of July 1, 2024. Basic earnings per share were calculated assuming the stock split had taken place at April 1, 2024.

3.要約連結キャッシュ・フロー計算書 Condensed Consolidated Statements of Cash Flows

（単位：百万円 Millions of Yen）

国際財務報告基準(IFRS)	2024/9 実績 Actual	2025/9 実績 Actual	2026/9 実績 Actual
営業活動によるキャッシュ・フロー Net cash provided by (used in) operating activities	23,975	△ 12,299	31,235
投資活動によるキャッシュ・フロー Net cash provided by (used in) investing activities	72,334	△ 56,716	△ 50
財務活動によるキャッシュ・フロー Net cash provided by (used in) financing activities	△ 8,274	△ 10,749	△ 12,632

4.売上原価の内訳 Breakdown of cost of sales

国際財務報告基準(IFRS)	2024/9 実績 Actual	2025/9 実績 Actual	2026/9 実績 Actual
労務費 Labor cost	31,539	35,548	37,644
材料費 Material cost	27,266	29,545	35,482
外注費 Subcontract expenses	48,174	52,911	55,648
その他 Other	11,260	14,237	16,328

5.研究開発費 R&D expenses

国際財務報告基準(IFRS)	2024/9 実績 Actual	2025/9 実績 Actual	2026/9 実績 Actual
研究開発費 R&D expenses	1,261	1,757	1,586

6.設備投資・減価償却費 Capital expenditure ・Depreciation

国際財務報告基準(IFRS)	2024/9 実績 Actual	2025/9 実績 Actual	2026/9 実績 Actual
設備投資 ※ Capital expenditure	2,033	1,691	4,391
減価償却費 Depreciation	6,038	6,367	7,075

7.期末従業員数 Number of employees at end of period

国際財務報告基準(IFRS)	2024/9 実績 Actual	2025/9 実績 Actual	2026/9 実績 Actual
期末従業員数(人) Number of employees at end of period (jobs)	8,669	10,405	10,756

※設備投資には使用権資産の取得額は含まれておりません。
The acquisition cost of right-of-use assets have been excluded in above item “Capital expenditure”.

8.連結業績概要 Outline of Consolidated Business Results

（単位：百万円 Millions of Yen）

国際財務報告基準(IFRS)	2025/3※1 実績 Actual	2026/3 実績 Actual	2027/3 見通し Outlook(A)	(参考)2027/3 2026/7/30 前回見通し Previous Outlook(B)	対前回見通し差異 (A)-(B)
受注高 Amount of order acceptance	355,771	407,295	—	—	—
ビジネスソリューション Business Solutions	251,295	303,744	—	—	—
コンサルティング＆デジタルサービス Consulting & Digital Service	104,475	103,551	—	—	—
期末受注残高 Order backlog at end of period	173,008	198,963	—	—	—
ビジネスソリューション Business Solutions	96,091	113,329	—	—	—
コンサルティング＆デジタルサービス Consulting & Digital Service	76,916	85,634	—	—	—
売上収益 Revenue	338,301	381,340	419,000	419,000	—
ビジネスソリューション Business Solutions	243,464	286,506	306,000	306,000	—
コンサルティング＆デジタルサービス Consulting & Digital Service	94,837	94,833	113,000	113,000	—
売上総利益 Gross profit	81,707	101,802	113,000	115,000	−2,000
販売費及び一般管理費 Selling, general and administrative expenses	41,071	58,057	64,000	66,500	−2,500
その他収益及び費用 Other income and other expenses	−2,137	497	—	—	—
営業利益 Operating profit	38,497	44,242	49,000	48,500	+500
親会社の所有者に帰属する当期利益 Profit attributable to owners of parent	27,049	30,832	32,400	32,300	+100
包括利益 Comprehensive income	42,553	33,565	—	—	—
売上総利益率(%) Ratio of gross profit to revenue (%)	24.2%	26.7%	27.0%	27.4%	−0.5%
営業利益率(%) Ratio of operating profit to revenue (%)	11.4%	11.6%	11.7%	11.6%	+0.1%
日本製鉄㈱向け販売高 Sales to Nippon Steel Corp.	65,303	70,555	68,000	70,000	−2,000
基本的1株当たり当期利益(円)※2 Basic earnings per share (yen)	147.84	168.50	177.06	176.52	+0.54
資本 Equity	269,815	288,808	—	—	—
総資産 Total assets	421,302	417,584	—	—	—
1株当たり配当金(円)※2 Cash dividends per share (yen)	74.00	85.00	89.00	87.00	+2.00
配当性向(%) Dividend payout ratio (%)	50.1%	50.4%	50.3%	49.3%	+1.0%

※1 2025年4月より一部の分野につき、ビジネスソリューション（流通・PF）からコンサルティング&デジタルサービスへの組替えを実施しており、2024年度実績は組替え後の数値となっております。
Some areas have been reclassified from “Business Solutions”(Retail and Service, Digital Platformer) to “Consulting & Digital Service”, and 2025/3 results are presented with figures after reclassification.

※2 当社は、2024年7月1日付けで普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。2024年度の期首に当該分割が行われたと仮定して、基本的1株当たり当期利益及び1株当たり配当金を算定しております。
The Company carried out a 2-for-1 stock split of common stock as of July 1, 2024. Basic earnings per share and Cash dividends per share were calculated assuming the stock split had taken place at April 1, 2024.

9.要約連結キャッシュ・フロー計算書 Condensed Consolidated Statements of Cash Flows

国際財務報告基準(IFRS)	2025/3 実績 Actual	2026/3 実績 Actual	2027/3 見通し Outlook
営業活動によるキャッシュ・フロー Net cash provided by (used in) operating activities	37,207	△ 3,409	―
投資活動によるキャッシュ・フロー Net cash provided by (used in) investing activities	70,249	△ 59,380	―
財務活動によるキャッシュ・フロー Net cash provided by (used in) financing activities	△ 18,805	△ 21,620	―

10.売上原価の内訳 Breakdown of cost of sales

国際財務報告基準(IFRS)	2025/3 実績 Actual	2026/3 実績 Actual	2027/3 見通し Outlook
労務費 Labor cost	66,567	74,973	―
材料費 Material cost	57,565	58,804	―
外注費 Subcontract expenses	99,353	109,717	―
その他 Other	33,107	36,043	―

11.研究開発費 R&D expenses

国際財務報告基準(IFRS)	2025/3 実績 Actual	2026/3 実績 Actual	2027/3 見通し Outlook
研究開発費 R&D expenses	2,833	3,769	―

12.設備投資・減価償却費 Capital expenditure ・Depreciation

国際財務報告基準(IFRS)	2025/3 実績 Actual	2026/3 実績 Actual	2027/3 見通し Outlook
設備投資 ※ Capital expenditure	3,513	5,365	10,000
減価償却費 Depreciation	12,134	13,889	14,000

13.期末従業員数 Number of employees at end of period

国際財務報告基準(IFRS)	2025/3 実績 Actual	2026/3 実績 Actual	2027/3 見通し Outlook
期末従業員数(人) Number of employees at end of period (jobs)	8,647	10,276	―

※設備投資には使用権資産の取得額は含まれておりません。
The acquisition cost of right-of-use assets have been excluded in above item “Capital expenditure”.

《参考》サービス・顧客業種別売上 Ref.Revenue by Segment / Customer Industry

1.サービス・顧客業種別売上(四半期) Revenue by Segment / Customer Industry (Quarterly)

（単位：百万円 Millions of Yen）

国際財務報告基準(IFRS)	2026/3 実績 Actual (A)				2027/3 実績 Actual (B)				対前年同期差異 (B)－(A)			
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4
ビジネスソリューション Business Solutions	63,506	75,260	74,566	81,079	72,684	75,468			+9,178	+208		
産業・鉄鋼 Manufacturing, Nippon Steel Group	33,514	41,397	40,182	45,003	41,535	42,793			+8,020	+1,395		
流通・プラットフォーマー Retail and Service, Digital Platformer	16,616	19,445	20,818	20,759	17,425	17,581			+808	−1,863		
金融 Financial Service	13,374	14,416	13,565	15,317	13,724	15,093			+349	+676		
コンサルティング＆デジタルサービス Consulting & Digital Service	37,130	32,388	35,636	38,303	37,574	41,725			+443	+9,336		
その他・調整額 Other	−17,953	−11,958	−13,182	−13,438	−16,598	−11,876			+1,354	+82		
合計 Total	82,684	95,690	97,019	105,944	93,660	105,317			+10,976	+9,626		

2.サービス・顧客業種別外部顧客向け売上(四半期) External Revenue by Segment / Customer Industry (Quarterly)

国際財務報告基準(IFRS)	2026/3 実績 Actual (A)				2027/3 実績 Actual (B)				対前年同期差異 (B)－(A)			
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4
ビジネスソリューション Business Solutions	61,892	73,180	72,769	78,664	70,558	72,845			+8,666	−334		
産業・鉄鋼 Manufacturing, Nippon Steel Group	32,523	40,427	39,178	43,611	39,922	41,199			+7,399	+772		
流通・プラットフォーマー Retail and Service, Digital Platformer	16,250	18,722	20,373	20,014	17,149	16,938			+899	−1,783		
金融 Financial Service	13,118	14,031	13,218	15,038	13,486	14,707			+368	+676		
コンサルティング＆デジタルサービス Consulting & Digital Service	20,792	22,510	24,249	27,280	23,102	32,471			+2,309	+9,961		
合計 Total	82,684	95,690	97,019	105,944	93,660	105,317			+10,976	+9,626		

《参考》サービス・顧客業種別売上 Ref.Revenue by Segment / Customer Industry

3.サービス・顧客業種別売上(上下別) Revenue by Segment / Customer Industry (Half Year)

（単位：百万円 Millions of Yen）

国際財務報告基準(IFRS)	2026/3(A)		2027/3(B)		(B)-(A)	
	上期実績 1H Actual	下期実績 2H Actual	上期実績 1H Actual	下期見通し 2H Outlook	上期 1H	下期 2H
ビジネスソリューション Business Solutions	138,767	155,646	148,153	—	+9,386	—
産業・鉄鋼 Manufacturing, Nippon Steel Group	74,912	85,185	84,328	—	+9,416	—
流通・プラットフォーマー Retail and Service, Digital Platformer	36,062	41,577	35,007	—	−1,055	—
金融 Financial Service	27,791	28,882	28,817	—	+1,025	—
コンサルティング＆デジタルサービス Consulting & Digital Service	69,519	73,940	79,300	—	+9,780	—
その他・調整額 Other	−29,911	−26,621	−28,474	—	+1,436	—
合計 Total	178,375	202,964	198,978	220,021	+20,603	+17,056

4.サービス・顧客業種別外部顧客向け売上(上下別) External Revenue by Segment / Customer Industry (Half Year)

国際財務報告基準(IFRS)	2026/3(A)		2027/3(B)		(B)-(A)	
	上期実績 1H Actual	下期実績 2H Actual	上期実績 1H Actual	下期見通し 2H Outlook	上期 1H	下期 2H
ビジネスソリューション Business Solutions	135,072	151,434	143,404	162,595	+8,332	+11,160
産業・鉄鋼 Manufacturing, Nippon Steel Group	72,950	82,789	81,122	86,877	+8,172	+4,087
流通・プラットフォーマー Retail and Service, Digital Platformer	34,972	40,387	34,088	42,411	−884	+2,023
金融 Financial Service	27,149	28,256	28,193	33,306	+1,044	+5,049
コンサルティング＆デジタルサービス Consulting & Digital Service	43,302	51,530	55,574	57,425	+12,271	+5,895
合計 Total	178,375	202,964	198,978	220,021	+20,603	+17,056

《参考》サービス・顧客業種別売上 Ref.Revenue by Segment / Customer Industry

5.サービス・顧客業種別売上高(年度) Revenue by Segment / Customer Industry (Full Year)

（単位：百万円 Millions of Yen）

国際財務報告基準(IFRS)	2026/3 実績 Actual(A)	2027/3 見通し Outlook(B)	差異 (B)-(A)	(参考)2027/3 2026/7/30 前回見通し Previous Outlook(C)	差異 (B)-(C)
ビジネスソリューション Business Solutions	294,413	—	—	—	—
産業・鉄鋼 Manufacturing, Nippon Steel Group	160,098	—	—	—	—
流通・プラットフォーマー Retail and Service, Digital Platformer	77,640	—	—	—	—
金融 Financial Service	56,674	—	—	—	—
コンサルティング＆デジタルサービス Consulting & Digital Service	143,459	—	—	—	—
その他・調整額 Other	−56,532	—	—	—	—
合計 Total	381,340	419,000	+37,659	419,000	—

6.サービス・顧客業種別外部顧客向け売上(年度) External Revenue by Segment / Customer Industry (Full Year)

国際財務報告基準(IFRS)	2026/3 実績 Actual(A)	2027/3 見通し Outlook(B)	差異 (B)-(A)	(参考)2027/3 2026/7/30 前回見通し Previous Outlook(C)	差異 (B)-(C)
ビジネスソリューション Business Solutions	286,506	306,000	+19,493	306,000	—
産業・鉄鋼 Manufacturing, Nippon Steel Group	155,740	168,000	+12,259	168,000	—
流通・プラットフォーマー Retail and Service, Digital Platformer	75,360	76,500	+1,139	76,500	—
金融 Financial Service	55,406	61,500	+6,093	61,500	—
コンサルティング＆デジタルサービス Consulting & Digital Service	94,833	113,000	+18,166	113,000	—
合計 Total	381,340	419,000	+37,659	419,000	—

《参考》サービス・顧客業種別営業利益 Ref.Operating Profit by Segment / Customer Industry

1.サービス・顧客業種別営業利益(四半期) Operating Profit by Segment / Customer Industry (Quarterly)

（単位：百万円 Millions of Yen）

国際財務報告基準(IFRS)	2026/3 実績 Actual (A)				2027/3 実績 Actual (B)				対前年同期差異 (B)－(A)			
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4
ビジネスソリューション Business Solutions	6,926	8,787	9,743	10,112	7,514	8,533			+587	−254		
産業・鉄鋼 Manufacturing, Nippon Steel Group	4,048	5,265	5,683	5,483	4,617	4,870			+569	−394		
流通・プラットフォーマー Retail and Service, Digital Platformer	1,533	1,908	2,590	3,025	1,320	1,690			−212	−218		
金融 Financial Service	1,344	1,613	1,469	1,603	1,576	1,972			+231	+358		
コンサルティング＆デジタルサービス Consulting & Digital Service	2,263	937	3,196	3,890	2,649	6,028			+385	+5,091		
その他・調整額 Other	−704	62	−222	−751	−934	−581			−229	−643		
合計 Total	8,485	9,787	12,718	13,251	9,228	13,980			+743	+4,193		

《参考》サービス・顧客業種別営業利益 Ref.Operating Profit by Segment / Customer Industry
2.サービス・顧客業種別営業利益(上下別) Operating Profit by Segment / Customer Industry (Half Year)

（単位：百万円 Millions of Yen）

国際財務報告基準(IFRS)	2026/3(A)		2027/3(B)		(B)-(A) 対前年差異	
	上期実績 1H Actual	下期実績 2H Actual	上期実績 1H Actual	下期見通し 2H Outlook	上期 1H	下期 2H
ビジネスソリューション Business Solutions	15,714	19,856	16,047	—	+333	—
産業・鉄鋼 Manufacturing, Nippon Steel Group	9,314	11,166	9,488	—	+174	—
流通・プラットフォーマー Retail and Service, Digital Platformer	3,441	5,616	3,010	—	−431	—
金融 Financial Service	2,958	3,073	3,548	—	+590	—
コンサルティング＆デジタルサービス Consulting & Digital Service	3,201	7,087	8,677	—	+5,476	—
その他・調整額 Other	−642	−973	−1,515	—	−872	—
合計 Total	18,272	25,969	23,209	—	+4,937	—

《参考》サービス・顧客業種別営業利益 Ref.Operating Profit by Segment / Customer Industry
3.サービス・顧客業種別営業利益(年度) Operating Profit by Segment / Customer Industry (Full Year)

（単位：百万円 Millions of Yen）

国際財務報告基準(IFRS)	2026/3	2027/3	
	実績 Actual(A)	見通し Outlook(B)	差異 (B)-(A)
ビジネスソリューション Business Solutions	35,570	—	—
産業・鉄鋼 Manufacturing, Nippon Steel Group	20,480	—	—
流通・プラットフォーマー Retail and Service, Digital Platformer	9,058	—	—
金融 Financial Service	6,031	—	—
コンサルティング＆デジタルサービス Consulting & Digital Service	10,288	—	—
その他・調整額 Other	−1,616	—	—
合計 Total	44,242	—	—

《参考》サービス・顧客業種別受注高・期末受注残高 Ref.Amount of order acceptance and Order backlog at end of period by Segment / Customer Industry

1.サービス・顧客業種別受注高(四半期) Amount of order acceptance by Segment / Customer Industry (Quarterly)

（単位：百万円 Millions of Yen）

国際財務報告基準(IFRS)	2026/3 実績 Actual (A)				2027/3 実績 Actual (B)				対前年同期差異 (B)－(A)			
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4
ビジネスソリューション Business Solutions	57,396	93,951	63,707	88,688	85,779	72,377			+28,383	−21,574		
産業・鉄鋼 Manufacturing, Nippon Steel Group	27,075	54,147	32,896	54,908	52,208	40,317			+25,133	−13,829		
流通・プラットフォーマー Retail and Service. Digital Platformer	15,548	25,606	19,201	19,157	17,209	15,742			+1,661	−9,864		
金融 Financial Service	14,772	14,197	11,608	14,623	16,361	16,317			+1,588	+2,120		
コンサルティング＆デジタルサービス Consulting & Digital Service	17,799	17,286	44,803	23,662	21,374	33,255			+3,575	+15,969		
合計 Total	75,195	111,237	108,511	112,350	107,154	105,633			+31,959	−5,604		

2.サービス・顧客業種別期末受注残高(四半期) Order backlog at end of period by Segment / Customer Industry (Quarterly)

国際財務報告基準(IFRS)	2026/3 実績 Actual (A)				2027/3 実績 Actual (B)				対前年同期差異 (B)－(A)			
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4
ビジネスソリューション Business Solutions	91,596	112,367	103,305	113,329	128,550	128,082			+36,954	+15,714		
産業・鉄鋼 Manufacturing, Nippon Steel Group	52,806	66,527	60,246	71,542	83,815	82,946			+31,008	+16,419		
流通・プラットフォーマー Retail and Service. Digital Platformer	20,076	26,960	25,789	24,932	24,992	23,796			+4,916	−3,164		
金融 Financial Service	18,713	18,879	17,269	16,854	19,742	21,339			+1,029	+2,460		
コンサルティング＆デジタルサービス Consulting & Digital Service	73,923	68,698	89,252	85,634	83,907	84,691			+9,984	+15,992		
合計 Total	165,519	181,066	192,557	198,963	212,457	212,773			+46,938	+31,706		

《参考》サービス・顧客業種別受注高・期末受注残高 Ref.Amount of order acceptance and Order backlog at end of period by Segment / Customer Industry

3.サービス・顧客業種別受注高(上下別) Amount of order acceptance by Segment / Customer Industry (Half Year)

（単位：百万円 Millions of Yen）

国際財務報告基準(IFRS)	2026/3(A)		2027/3(B)		(B)-(A) 対前年差異	
	上期実績 1H Actual	下期実績 2H Actual	上期実績 1H Actual	下期見通し 2H Outlook	上期 1H	下期 2H
ビジネスソリューション Business Solutions	151,348	152,396	158,157	—	+6,809	—
産業・鉄鋼 Manufacturing, Nippon Steel Group	81,223	87,804	92,526	—	+11,303	—
流通・プラットフォーマー Retail and Service, Digital Platformer	41,155	38,359	32,952	—	−8,203	—
金融 Financial Service	28,969	26,231	32,678	—	+3,708	—
コンサルティング＆デジタルサービス Consulting & Digital Service	35,085	68,465	54,630	—	+19,545	—
合計 Total	186,433	220,862	212,788	—	+26,354	—

4.サービス・顧客業種別期末受注残高(上下別) Order backlog at end of period by Segment / Customer Industry (Half Year)

国際財務報告基準(IFRS)	2026/3(A)		2027/3(B)		(B)-(A) 対前年差異	
	上期実績 1H Actual	下期実績 2H Actual	上期実績 1H Actual	下期見通し 2H Outlook	上期 1H	下期 2H
ビジネスソリューション Business Solutions	112,367	113,329	128,082	—	+15,714	—
産業・鉄鋼 Manufacturing, Nippon Steel Group	66,527	71,542	82,946	—	+16,419	—
流通・プラットフォーマー Retail and Service, Digital Platformer	26,960	24,932	23,796	—	−3,164	—
金融 Financial Service	18,879	16,854	21,339	—	+2,460	—
コンサルティング＆デジタルサービス Consulting & Digital Service	68,698	85,634	84,691	—	+15,992	—
合計 Total	181,066	198,963	212,773	—	+31,706	—

《参考》サービス・顧客業種別受注高・期末受注残高 Ref.Amount of order acceptance and Order backlog at end of period by Segment / Customer Industry

5.サービス・顧客業種別受注高(年度) Amount of order acceptance by Segment / Customer Industry (Full Year)

（単位：百万円 Millions of Yen）

国際財務報告基準(IFRS)	2026/3 実績 Actual(A)	2027/3 見通し Outlook(B)	差異 (B)-(A)
ビジネスソリューション Business Solutions	303,744	—	—
産業・鉄鋼 Manufacturing, Nippon Steel Group	169,028	—	—
流通・プラットフォーマー Retail and Service. Digital Platformer	79,514	—	—
金融 Financial Service	55,201	—	—
コンサルティング＆デジタルサービス Consulting & Digital Service	103,551	—	—
合計 Total	407,295	—	—

6.サービス・顧客業種別期末受注残高(年度) Order backlog at end of period by Segment / Customer Industry (Full Year)

国際財務報告基準(IFRS)	2026/3 実績 Actual(A)	2027/3 見通し Outlook(B)	差異 (B)-(A)
ビジネスソリューション Business Solutions	113,329	—	—
産業・鉄鋼 Manufacturing, Nippon Steel Group	71,542	—	—
流通・プラットフォーマー Retail and Service. Digital Platformer	24,932	—	—
金融 Financial Service	16,854	—	—
コンサルティング＆デジタルサービス Consulting & Digital Service	85,634	—	—
合計 Total	198,963	—	—